

(様式第 10)

熊大病医事第 175 号  
平成 29 年

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人熊本大学長  
原田 信

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
氏 名	国立大学法人熊本大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

熊本大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号	電話(096)342-2111
------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① 有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
④腎臓内科	⑤神経内科	⑥血液内科
⑦内分泌内科	⑧代謝内科	⑨感染症内科
⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科	
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 5血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科
③乳腺外科 7内分泌外科	4心臓外科 ⑧小児外科
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1移植外科	2形成外科	3リハビリテーション科	4病理診断科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	床	床	床	798床	848床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	296人	206.1人	502.1人	看護補助者	23人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	17.1人	25.1人	理学療法士	18人	臨床検査技師	75人
薬剤師	70人	0人	70人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	30人	1.4人	31.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	793人	27.9人	820.9人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	3人	0人	3人	歯科技工士	1人	事務職員	246人
管理栄養士	7人	0.8人	7.8人	診療放射線技師	51人	その他の職員	48人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	47人	眼科専門医	10人
外科専門医	46人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	4人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	31人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	22人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	17人
産婦人科専門医	22人	救急科専門医	8人
		合 計	270人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 水田 博志 ) 任命年月日 平成27年4月1日

平成23年4月1日～平成27年3月31日 副病院長 (医療安全管理及び危機管理に関する事項担当)  
 医療安全管理部長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	682.73人	22.43人	705.16人
1日当たり平均外来患者数	1,397.78人	89.36人	1,487.14人
1日当たり平均調剤数	821.39剤		
必要医師数	155.23人		
必要歯科医師数	8人		
必要薬剤師数	24人		
必要(准)看護師数	405人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	883 m <sup>2</sup>	SR	病床数	30床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	144.42 m <sup>2</sup>		病床数	16床
	[移動式の場合]	台数	22台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	53 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	591m <sup>2</sup>	SR	(主な設備) 汎用自動分析装置、電解質測定装置、HbA1c分析装置			
細菌検査室	137m <sup>2</sup>	SR	(主な設備) 自動塗布装置、薬剤感受性装置、自動染色装置			
病理検査室	446m <sup>2</sup>	SR	(主な設備) 自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結切片作成装置			
病理解剖室	187m <sup>2</sup>	SR	(主な設備) 病理解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ			
研究室	112m <sup>2</sup>	SR	(主な設備) クリオスタット、遠心機、オートクレーブ			
講義室	1,126m <sup>2</sup>	SR	室数	5室	収容定員	828人
図書室	2,524m <sup>2</sup>	SR	室数	2室	蔵書数	179,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.4%	逆紹介率	79.2%
算出根拠 A: 紹介患者の数			15,185人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			13,966人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,651人
拠 D: 初診の患者の数			17,642人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学医療安全管理部 安全管理部門	○	医療安全に関する見識を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
藤木 美才	ふじき法律事務所		法律に関する見識を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
石崎 哲彦	熊本大学肝移植患者会 いちよの会 With		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 大学ホームページによる公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	0人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	2人
前眼部三次元画像解析	0人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	31人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	26
2	筋萎縮性側索硬化症	29	57	特発性拡張型心筋症	12
3	脊髄性筋萎縮症	14	58	肥大型心筋症	40
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	136	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	38
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリイ・トゥース病	6	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	55	66	IgA腎症	45
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	12
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	70	68	黄色靭帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	23	69	後縦靭帯骨化症	15
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	5
17	多系統萎縮症	17	72	下垂体性ADH分泌異常症	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	33	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	25	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	23	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	104
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	82
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	10	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	86
30	遠位型ミオパチー	4	85	特発性間質性肺炎	15
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	16
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	2
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	1
34	神経線維腫症	31	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	46	90	網膜色素変性症	20
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	83
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	8	95	自己免疫性肝炎	62
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	45
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	86
43	顕微鏡的多発血管炎	24	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	5	101	腸管神経節細胞減少症	1
47	バージャー病	16	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	GFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	146	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	188	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	83	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	17	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	157	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	28
113	筋ジストロフィー	22	163	特発性後天性全身性無汗症	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
117	脊髄空洞症	13	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	4	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジドリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	8	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	1
133	メウズ症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	2	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	6	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	9	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	1
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	11	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	4
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	6

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	14	263	脳腫黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	5	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	4
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	42	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	3
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	6
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	1
228	閉塞性細気管支炎	3	276	軟骨無形成症	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	43	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	22	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	18	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	1	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	3
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	5
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	19
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性隣炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	28
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ボルフィリン症	6	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	9

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	26	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	2	330	先天性気管狭窄症	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
特定機能病院入院基本料1. 一般病棟 イ (7対1看護)	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料3. 精神病棟 ハ (13対1看護)	病棟薬剤業務実施加算1
臨床研修病院入院診療加算(基幹型:医科)(単独型:歯科)	病棟薬剤業務実施加算2
救急医療管理加算	データ提出加算2
超急性期脳卒中加算	退院支援加算2
妊産婦緊急搬送入院加算	退院支援加算3
診療録管理体制加算2	精神疾患診療体制加算
医師事務作業補助体制加算1(40対1補助体制加算)	精神科急性期医師配置加算
急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上)	特定集中治療室管理料2
看護職員夜間12対1配置加算1	特定集中治療室管理料3
看護補助加算2(50対1)(精神病棟)	ハイケアユニット入院医療管理料1
療養環境加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
重症者等療養環境特別加算	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
無菌治療室管理加算1	新生児治療回復室入院医療管理料
無菌治療室管理加算2	小児入院医療管理料2
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2に係る加算(プレイルーム加算)
精神科身体合併症管理加算	
精神科リエゾンチーム加算	
がん拠点病院加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
感染防止対策地域連携加算	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	遺伝学的検査
心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	HPV核酸検出
高度難聴指導管理料	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
糖尿病合併症管理料	検体検査管理加算(I)
がん性疼痛緩和指導管理料	検体検査管理加算(IV)
がん患者指導管理料1	国際標準検査管理加算
がん患者指導管理料2	遺伝カウンセリング加算
がん患者指導管理料3	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
外来緩和ケア管理料	植込型心電図検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	時間内歩行試験
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	シャトルウォーキングテスト
糖尿病透析予防指導管理料	胎児心エコー法
外来リハビリテーション診療料	ヘッドアップティルト試験
外来放射線照射診療料	人工臓臓検査
ニコチン依存症管理料	皮下連続式グルコース測定
がん治療連携計画策定料	長期継続頭蓋内脳波検査
がん治療連携管理料	脳波検査判断料1
外来がん患者在宅連携指導料	神経学的検査
認知症専門診断管理料	補聴器適合検査
肝炎インターフェロン治療計画料	ロービジョン検査判断料
薬剤管理指導料	内服・点滴誘発試験
医療機器安全管理料1	センチネルリンパ節生検(片側)
医療機器安全管理料2	画像診断管理加算1
医療機器安全管理料(歯科)	画像診断管理加算2
持続血糖測定器加算	遠隔画像診断
造血器腫瘍遺伝子検査	ポジトロン断層撮影

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	認知療法・認知行動療法1
CT撮影	認知療法・認知行動療法2
冠動脈CT撮影加算	精神科作業療法
大腸CT撮影加算	抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
MRI撮影	医療保護入院等診療料
心臓MRI撮影加算	エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
乳房MRI撮影加算	エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	透析液水質確保加算2
外来化学療法加算1	人工膝関節療法
無菌製剤処理料	一酸化窒素吸入療法
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術)
心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算	組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る。)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	骨移植術(軟骨移植術を含む。) (同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る)))
脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
廃用症候群リハビリテーション料(I)	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
廃用症候群リハビリテーション料の初期加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
運動器リハビリテーション料(I)	網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
運動器リハビリテーション料の初期加算	網膜再建術
呼吸器リハビリテーション料(I)	人工内耳植込術
呼吸器リハビリテーション料の初期加算	植込型骨導補聴器移植術・交換術
がん患者リハビリテーション料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
がん患者リハビリテーション料(歯科)	乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
認知症患者リハビリテーション料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
集団コミュニケーション療法料	経皮的冠動脈形成術
歯科口腔リハビリテーション料2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
通院・在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算	経皮的冠動脈ステント留置術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
経カテーテル大動脈弁置換術	医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術
経皮的の中隔心筋焼灼術	胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	輸血管理料Ⅱ
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	貯血式自己血輸血管理体制加算
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術	手術時歯根面レーザー応用加算
経静脈電極抜去術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	麻酔管理料(Ⅰ)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	麻酔管理料(Ⅱ)
経皮的の大動脈遮断術	放射線治療専任加算
ダメージコントロール手術	外来放射線治療加算
胆管悪性腫瘍手術 (膝頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	1回線量増加加算
腹腔鏡下肝切除術	高エネルギー放射線治療
生体部分肝移植術	強度変調放射線治療(IMRT)
同種死体肝移植術	画像誘導放射線治療(IGRT)
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 <sup>1</sup>	体外照射呼吸性移動対策加算
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	定位放射線治療
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	保険医療機関間の連携による病理診断
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
同種死体腎移植術	テレパソロジーによる術中迅速細胞診
生体腎移植術	病理診断管理加算2
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	地域歯科診療支援病院歯科初診料
人工尿道括約筋植込・置換術	歯科外来診療環境体制加算 再診時歯科外来診療環境体制加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	歯科診療特別対応連携加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)(Ⅱ)







(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	AKIからの腎組織修復に慢性炎症が果たす役割の解明	早田 学	医学部附属病院	1,500,000	① 独立行政法人日本学術振興会
2	AutophagyによるARDS制御機構解明とmicroRNAによる治療法開発	田代 貴大	医学部附属病院	3,526,065	① 独立行政法人日本学術振興会
3	FXR agonistを用いた肝切除後肝再生促進療法の臨床応用を見据えた基礎研究	高森 啓史	医学部附属病院	1,758,815	① 独立行政法人日本学術振興会
4	HIV感染におけるケモカイン受容体の挙動及び受容体阻害剤に関する研究	中田 浩智	医学部附属病院	1,655,634	① 独立行政法人日本学術振興会
5	microRNAを介した胃癌における抗HER2抗体耐性機序の解明	林 尚子	医学部附属病院	1,659,163	① 独立行政法人日本学術振興会
6	Smad3抑制による癒痕声帯の治療法開発	増田 聖子	医学部附属病院	1,038,795	① 独立行政法人日本学術振興会
7	TTRの断片化を活用したFAP病態解明へのプレイクスルーと新規疾患モデル構築	植田 光晴	医学部附属病院	2,045,797	① 独立行政法人日本学術振興会
8	アセトゾラミドおよびカナグリフロジンによる糖尿病性腎症発症抑制効果の検討	中山 裕史	医学部附属病院	900,000	① 独立行政法人日本学術振興会
9	アミロイドーシス根治を目指した従来にないマルチターゲット型新規治療薬の創製	城野 博史	医学部附属病院	1,600,000	① 独立行政法人日本学術振興会
10	アンジオポエチン様因子2が皮膚の加齢性変化および加齢性皮膚がんに与える影響の検討	青井 淳	医学部附属病院	1,500,000	① 独立行政法人日本学術振興会
11	グリオーマ幹細胞を標的とした間葉系幹細胞による新規治療法の開発	篠島 直樹	医学部附属病院	312,017	① 独立行政法人日本学術振興会
12	セリンプロテアーゼ・ヘプシンの腎臓における生理的機能の分子解明	安達 政隆	医学部附属病院	1,300,000	① 独立行政法人日本学術振興会
13	ヒストン脱メチル化酵素を制御するmicroRNAを標的とした新規治療法の開発	坂本 快郎	医学部附属病院	2,027,516	① 独立行政法人日本学術振興会
14	ヒト糖尿病1a型IPS細胞における遺伝子修復法の確立と新規の病態解析	城戸 淳	医学部附属病院	1,334,838	① 独立行政法人日本学術振興会
15	マウスラセン神経節細胞におけるTis21の細胞保護作用	伊勢 桃子	医学部附属病院	600,000	① 独立行政法人日本学術振興会
16	マクロファージにおけるp27kip発現調機序の解明と動脈硬化症発症における意義	石井 規夫	医学部附属病院	1,626,079	① 独立行政法人日本学術振興会
17	メタボリックシンドロームによる腎障害におけるプロテアーゼの機能解明と治療応用	水本 輝彦	医学部附属病院	1,500,000	① 独立行政法人日本学術振興会
18	悪性黒色腫に対するiPS細胞由来ミエロイドラインによる新規免疫療法の開発	福島 聡	医学部附属病院	1,207,856	① 独立行政法人日本学術振興会
19	遺伝子改変ヒトIPS細胞由来ミエロイドラインを用いた進行期悪性黒色腫の免疫療法	宮下 梓	医学部附属病院	1,600,000	① 独立行政法人日本学術振興会
20	遺伝性脳血管障害に対する新規治療ターゲットの同定と根治的治療の開発	植田 明彦	医学部附属病院	2,000,234	① 独立行政法人日本学術振興会
21	医学生への参加型臨床実習と手術成績に関する地域共同のプロスペクティブ研究	石河 隆敏	医学部附属病院	1,016,277	① 独立行政法人日本学術振興会
22	一過性局所神経脱落徴候から迫る新たな脳アミロイド・アンギオパチーの病態と診断法	中島 誠	医学部附属病院	2,348,772	① 独立行政法人日本学術振興会
23	化学療法後の肝類洞閉塞症候群の分子機構解明と抗VEGF抗体療法の有効性の解析	黒木 秀幸	医学部附属病院	2,109,047	① 独立行政法人日本学術振興会
24	肝血流低下による肝萎縮機構の解明とLSKLpeptideを用いた新規治療法の開発	生田 義明	医学部附属病院	1,774,029	① 独立行政法人日本学術振興会
25	肝定位放射線治療における機能的線量体積ヒストグラムと肝機能障害予測システムの開発	東家 亮	医学部附属病院	923,061	① 独立行政法人日本学術振興会
26	肝内胆管癌におけるCDH3の発現とRho familyとの関連	堀野 敬	医学部附属病院	1,731,404	① 独立行政法人日本学術振興会
27	癌関連線維芽細胞(CAF)を標的とした胆道癌の新規治療法の開発	今井 克憲	医学部附属病院	2,249,346	① 独立行政法人日本学術振興会
28	癌治療の個別化への道を切り開く予後規定因子CYLD発現消失の分子機能動態の解明	城野 博史	医学部附属病院	4,835,093	① 独立行政法人日本学術振興会
29	癌微小周囲環境における補体を介した間質細胞の増殖・転移促進効果に関する研究	中原 修	医学部附属病院	1,550,011	① 独立行政法人日本学術振興会
30	近位側大腸の锯齿状腺腫(SSAP)に対する分子生物学的解析	庄野 孝	医学部附属病院	828,634	① 独立行政法人日本学術振興会
31	限局性皮膚形成異常を標識する術中分子イメージング法の開発	浜崎 禎	医学部附属病院	822,632	① 独立行政法人日本学術振興会
32	口腔扁平上皮癌におけるmiRNAによる抗癌剤耐性機構の解明と個別化治療への応用	川原 健太	医学部附属病院	1,570,420	① 独立行政法人日本学術振興会

33	口腔扁平上皮癌における遠隔転移マーカーの同定及び解析	田中 拓也	医学部附属病院	1,234,610	補委	独立行政法人日本学術振興会
34	高解像度内圧計を用いた嚥下リハビリテーション手技に関する基礎的・臨床的研究	鮫島 靖浩	医学部附属病院	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
35	子どもの慢性疲労と不注意の脳内機序解明と治療法開発研究	上土井 貴子	医学部附属病院	1,200,475	補委	独立行政法人日本学術振興会
36	時系列カラー表示ASL-MRAの基礎的・臨床的研究	西村 振一郎	医学部附属病院	1,286,950	補委	独立行政法人日本学術振興会
37	次世代シーケンサーを利用した膠芽腫の治療抵抗性と再発に関連する遺伝子変異の探索	秀 拓一郎	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
38	循環器疾患における新規血栓形成能測定システムを用いた至適抗血栓療法法の確立	海北 幸一	医学部附属病院	1,409,456	補委	独立行政法人日本学術振興会
39	小径線維ニューロパチーにおける革新的な評価法の確立と新たな診断マーカーの探索	増田 曜章	医学部附属病院	1,303,213	補委	独立行政法人日本学術振興会
40	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素TETファミリーおよび5-hmCの解析	宮成 信友	医学部附属病院	1,657,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
41	食道癌におけるプロモーター領域のメチル化とmicroRNA発現の網羅的解析	齋藤 誠哉	医学部附属病院	1,732,479	補委	独立行政法人日本学術振興会
42	食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKT pathway関連遺伝子変異の網羅的検索	志垣 博信	医学部附属病院	1,216,292	補委	独立行政法人日本学術振興会
43	新たな内分泌学的因子を包含した子宮内膜癌の分類と治療戦略の確立	齋藤 文蒼	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
44	先進的MRIパラメーターによる脳腫瘍の定量的性状解析と手術支援	北島 美香	医学部附属病院	1,518,440	補委	独立行政法人日本学術振興会
45	先天性無痛無汗症の中樞神経病態と神経成長因子依存性ニューロンの生理学的機能	犬童 康弘	医学部附属病院	1,894,261	補委	独立行政法人日本学術振興会
46	胎生期内耳における遺伝子発現調節による遺伝子動態の解析	三輪 徹	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
47	大腸癌の浸潤・転移におけるCdh1の役割の解明	直江 秀昭	医学部附属病院	800,492	補委	独立行政法人日本学術振興会
48	大動脈瘤発生のメカニズム解明による新規大動脈瘤破裂予測因子の探索	田爪 宏和	医学部附属病院	1,749,685	補委	独立行政法人日本学術振興会
49	胆管癌におけるエピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討	近本 亮	医学部附属病院	1,839,290	補委	独立行政法人日本学術振興会
50	低血糖による合併症増悪機序におけるmtROSとWarburg effectの関与	久木留 大介	医学部附属病院	1,400,872	補委	独立行政法人日本学術振興会
51	低被ばく心臓CTにおけるモデル型逐次近似再構成法によるブランク性状評価の検討	幸 秀明	医学部附属病院	843,463	補委	独立行政法人日本学術振興会
52	転移乳癌に対するエストロゲン付加療法メカニズム解析	村上 敬一	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
53	電気刺激により悪性グリオーマの増殖を制御する	山田 和慶	医学部附属病院	2,219,738	補委	独立行政法人日本学術振興会
54	糖尿病予測およびIPS細胞移植基盤の確立	松本 志郎	医学部附属病院	1,103,465	補委	独立行政法人日本学術振興会
55	内臓肥満が大腸癌の進展に与える影響とそのメカニズムの解析	宮本 裕士	医学部附属病院	1,709,939	補委	独立行政法人日本学術振興会
56	乳癌ホルモン療法の効果予測を目的としたツールの開発	指宿 陸子	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
57	敗血症環境におけるNecroptosisを中心としたHMGB1の主導的役割の解明	岩下 晋輔	医学部附属病院	1,025,847	補委	独立行政法人日本学術振興会
58	発生学的考察に基づいた、低出生体重児の循環器リスクを明らかにする基盤技術の創出	有馬 勇一郎	医学部附属病院	1,662,896	補委	独立行政法人日本学術振興会
59	封入体筋炎をモデルとした異常蛋白凝集体病の病態解明	俵 明恵	医学部附属病院	2,288,351	補委	独立行政法人日本学術振興会
60	腹腔内環境をターゲットとした子宮内膜症の内分泌療法を脱却した新規治療薬の開発	伊藤 史子	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
61	房水流出路の4次元イメージングと緑内障病態における動的変化に関する研究	井上 俊洋	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
62	膜透過性ペプチドを用いた悪性神経膠腫腫瘍幹細胞に対する治療の実現化の研究	中村 英夫	医学部附属病院	267,980	補委	独立行政法人日本学術振興会
63	卵巣明細胞腺癌における静脈血栓塞栓症の発症メカニズムの解明と治療戦略	坂口 勲	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
64	硫酸抱合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	4,114,744	補委	独立行政法人日本学術振興会
65	口腔がんに対する、がん抗原由来長鎖ペプチドを用いたがんペプチドワクチン療法の開発	平山 真敏	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
66	ヒト幹細胞から機能的3次元心筋組織の構築法および移植法の開発	野口 亮	医学部附属病院	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
67	グルナビル等に対するHIV高度耐性の分子力学的解析と新規プロテアーゼ阻害剤開発	満屋 裕明	医学部附属病院	3,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
68	データマイニング手法を用いた呼吸器・集中治療医学に関する知識の探索	廣佐古 進	医学部附属病院	580,569	補委	独立行政法人日本学術振興会

69	HIV-1 Capsid蛋白の自己崩壊を誘導する、新規Capsid阻害剤の開発	天野 将之	医学部附属病院	1,226,040	補委	独立行政法人日本学術振興会
70	ES細胞由来ミクロイド細胞 (ES-ML)を用いた神経自己免疫疾患の細胞治療	池田 徳典	医学部附属病院	1,534,409	補委	独立行政法人日本学術振興会
71	精神疾患の診断におけるepigenetic biomarkerの開発	菅原 裕子	医学部附属病院	2,664,383	補委	独立行政法人日本学術振興会
72	房室弁輪部起源心房性頻拍の機序および至適治療法に関する検討	山部 浩茂	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
73	アセチルコリン受容体にフォーカスした自己免疫性自律神経節障害の多様性の解明	中根 俊成	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
74	インスリンシグナルを標的とする新規microRNAの同定とその意義の解明	井形 元維	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
75	HIV感染者合併脳心血管疾患におけるvWFとADAMTS13の関与	宮川 寿一	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
76	肝移植における虚血再灌流障害に対する水素水の効果と細胞動態イメージング評価	阪本 靖介	医学部附属病院	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
77	癌C5aR、C5a遊離プロテアーゼを標的とした治療法の確立	新田 英利	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
78	大腸癌におけるstatinの抗腫瘍効果メカニズムの解明と新規治療法の開発	石川 晋之	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
79	消化器癌におけるHippo-pathwayを介した癌幹細胞性獲得機構の解明	林 洋光	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
80	ミニチュアヒト肝臓を用いた肝癌の浸潤・転移機序解明による革新的肝癌治療の開発	山下 洋市	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
81	癌特異的糖代謝をターゲットとする新しい肺癌治療法の開発	橋本 大輔	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
82	ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発	竹崎 達也	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
83	多様なエピジェネティクス異常に基づく悪性神経膠腫の体系化の確立と治療抵抗性の克服	中村 英夫	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
84	治療抵抗性高血圧症に対する頭側延髄腹外側野の微小血管減圧術～確実な診断技術の開発	浜崎 禎	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
85	腫瘍内微小環境におけるマクロファージスカベンジャー受容体CD163の機能解明	白石 大偉輔	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
86	腎癌におけるマクロファージ関連分子に注目した抗癌剤耐性メカニズムの解明	元島 崇信	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
87	緑内障における網膜神経節細胞保護・軸索伸長を目指す薬剤スクリーニング基盤研究	岩尾 圭一郎	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
88	救急外来における頭部外傷症例の血中GFAP測定および臨床的有用性の検討	金子 唯	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
89	口腔がん難民救済のためのプロトワクチン療法実用化への第一歩を踏み出す研究	吉武 義泰	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
90	結晶解析・熱力学的手法を用いたプロテアーゼ阻害剤に対するHIVの耐性発現機構解明	満屋 裕明	医学部附属病院	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
91	血管病変におけるSirt7の機能解析	荒木 智	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
92	新規マイオカインを用いた大動脈弁狭窄症患者における包括的手術リスク評価法の確立	花谷 信介	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
93	敗血症患者の救命率最大化を可能にする従来にない個別の薬物動態解析法の確立	尾田 一貴	医学部附属病院	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
94	皮膚筋炎におけるlncRNAの役割解明	緒方 亜紀	医学部附属病院	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
95	Tsukushiによる創傷治癒メカニズムの分子基盤解明	新森 大佑	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
96	肝細胞癌における癌関連好中球 (TAN) の分離解析による役割の解明	岡部 弘尚	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
97	脂肪酸代謝、酸化ストレスを介したNAFLD/NASH肝細胞癌の発癌・進展機構解明	中川 茂樹	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
98	肝細胞癌におけるスタチンによる抗腫瘍効果の分子メカニズムの検討	東 孝暁	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
99	消化器癌におけるがん代謝関連酵素LSD1の機能解析と新規治療法の開発	小澄 敬祐	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
100	消化器癌におけるPPAR $\gamma$ アゴニストの代謝関連蛋白質制御機構解明と新規治療の開発	澤山 浩	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
101	大腸癌における、エピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討	徳永 竜馬	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
102	バレット食道癌の新規バイオマーカー開発を目指したゲノム低メチル化の網羅的解析	原田 和人	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
103	腱板骨結合部修復過程におけるScx発現前駆細胞の動態解明	徳永 琢也	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
104	声帯粘膜傷害後の癒傷形成過程における声帯星形細胞の動態とヒタミンAの役割	東家 完	医学部附属病院	1,760,106	補委	独立行政法人日本学術振興会

105	MNAMを介するSirt1安定化メカニズムによる加齢性難聴発症予防	草場 雄基	医学部附属病院	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
106	口腔がんにおけるCetuximab耐性機構解析と免疫療法併用による新規治療の開発	永田 将士	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
107	口腔癌におけるサイトカインを介した抗癌剤耐性機構解明と新規治療法開発	中川 純泰	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
108	骨髄播種癌細胞の休眠状態に基づく口腔癌の転移再発メカニズム解明と新規治療法の創出	中村 拓哉	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
109	治療抵抗性口腔癌の高次エピゲノム解析に基づく新規診断法とエピゲノム治療法の創出	廣末 晃之	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
110	2光子励起顕微鏡を用いた小腸虚血再灌流障害時における好中球動態の解析	本田 正樹	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
111	心臓リハビリテーションによる脳由来神経栄養因子を介した心不全治療の検討	高潮 征爾	医学部附属病院	625,706	補委	独立行政法人日本学術振興会
112	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリパーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study: Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patients with stable coronary artery disease Study)	海北 幸一	医学部附属病院	955,397	補委	公益財団法人循環器病研究振興財団
113	遅発型ボンベ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	小篠 史郎	医学部附属病院	125,032	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
114	硫酸合型尿管毒物質産生阻害薬の探索—創薬標的蛋白のバリデーション及びスクリーニング系の基礎的検討	齋藤 秀之	医学部附属病院	10,643,800	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
115	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	満屋 裕明	医学部附属病院	84,735,800	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
116	多剤耐性HIV変異株に強力で高いCNS透過性を有する新規抗HIV薬の開発と実用化	満屋 裕明	医学部附属病院	84,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
117	内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	62,774,080	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
118	医療事故の発生を抑制する医療事故発生予測技術を可能とするビッグデータ解析基盤の研究開発	宇宿 功市郎	医学部附属病院	377,620	補委	九州総合通信局
119	本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究(分担課題名:心機能データ解析)	高潮 征爾	医学部附属病院	500,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
120	未承認薬の早期臨床開発試験における薬物動態・薬力学解析・薬理遺伝学解析の標準化に関する研究(呼吸器領域の臨床試験)	佐伯 祥	医学部附属病院	200,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
121	家族性アミロイドポリニューロパチー治療への実用化を目指した新規マルチターゲット型アミロイドーシス治療薬の治療効果の検証	城野 博史	医学部附属病院	1,000,000	補委	国立大学法人九州大学
122	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究	中村 英夫	医学部附属病院	500,000	補委	国立大学法人埼玉医科大学
123	脳脊髄液減少症における自律神経機能異常の関与の検討	中根 俊成	医学部附属病院	1,000,000	補委	国立大学法人埼玉医科大学
124	平成28年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が救急搬送に及ぼす影響の疫学研究))	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,940,720	補委	国立研究開発法人国立環境研究所
125	HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究	野坂 生郷	医学部附属病院	1,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
126	慢性疲労症候群の血清学的診断法の新規開発	中根 俊成	医学部附属病院	1,538,462	補委	国立研究開発法人理化学研究所
127	悪性黒色腫における免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	福島 聡	医学部附属病院	11,153,847	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
128	新規分子標的治療をめざした卵巣癌幹細胞の研究	坂口 勲	医学部附属病院	1,000,000	補委	出西市病院事業
129	赤血球製剤使用ガイドラインの改訂	米村 雄士	医学部附属病院	200,000	補委	国立大学法人名古屋大学
130	膠芽腫の術後照射におけるターゲットの線量分布変化の検討	松山 知彦	医学部附属病院	1,000,000	補委	出西市病院事業
131	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	2,000,000	補委	出西市病院事業
132	鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する内視鏡下頭蓋底手術の標準化を目指した多施設共同研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	200,000	補委	国立大学法人東京医科歯科大学
133	FAPの次世代型複合的免疫療法によるアミロイド掃討作戦	安東 由喜雄	生命科学部	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
134	ヒト細胞白血病ウイルス1型による発がん機構の解明	松岡 雅雄	生命科学部	3,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
135	癌幹細胞とニッチを標的とした卵巣癌Dual-targeted therapy戦略	片淵 秀隆	生命科学部	4,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
136	ヒト遺伝性難聴に対する根本治療確立を目指した基礎研究	養田 涼生	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
137	癌幹細胞性維持に關与する腫瘍間質由来ニッチ因子の同定と新規治療戦略の確立	石本 崇胤	生命科学部	6,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
138	造血幹細胞の機能維持を司るリボソーム生合成経路の検証	松井 啓隆	生命科学部	2,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

139	房水生理活性物質の相互作用による緑内障発症機序の解明	井上 みゆき	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
140	多発性骨髄腫及びホジキンリンパ腫のPU.1発現誘導を利用した治療応用の基礎研究	奥野 豊	生命科学研究部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
141	APP修飾認知症モデル動物における脳内インスリン作用と認知機能障害機序の解析	河島 淳司	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
142	去勢抵抗性前立腺癌におけるWnt signalの生物学的意義	河野 吉昭	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
143	Pax8-rtTA/LC-1システムを用いた腎尿細管近位側プロスタチンの機能解明	柿添 豊	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
144	好中球のCXCR1/2の細胞内輸送分子を用いた新たなSIRSの診断・治療法の開発	蒲原 英伸	生命科学研究部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
145	GISTに対する分子標的薬耐性バイオマーカーの同定とその臨床応用	岩槻 政晃	生命科学研究部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
146	胃粘膜内のmicrobiomeと胃癌の悪性度に関する網羅的解析	吉田 直矢	生命科学研究部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
147	熱応答性ストレス反応経路活性化を介した抗炎症・抗糖尿病効果の分子機構解明	近藤 龍也	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
148	癩痕声帯における筋線維芽細胞の解析とその活性調節による声帯癩痕化抑制	熊井 良彦	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
149	慢性腎臓病における創薬ターゲットとしての内因性リガンドMRP8の役割の検討	桑原 孝成	生命科学研究部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
150	生活習慣病関連腎症の発症・進展における臓器・細胞連関と内分泌因子の意義	向山 政志	生命科学研究部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
151	悪性グリオーマのBRAF V600E遺伝子変異を標的とした新規治療法の開発	黒田 順一郎	生命科学研究部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
152	封入体筋炎の治療戦略を切り拓くための新たなモデルマウスの開発と治療法の探索	山下 賢	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
153	CTの被曝低減を目的とした総合的研究	山下 康行	生命科学研究部	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
154	上位中枢におけるプレガバリン・ガバペンチンによる鎮痛発現機序	山本 達郎	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
155	ヒト造血細胞でのゲノム編集技術基盤の確立と血液腫瘍病態解析への応用	松井 啓隆	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
156	全身性強皮症を含む皮膚線維化疾患におけるlong non-coding RNA	神人 正寿	生命科学研究部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
157	骨髄腫種細胞の休眠を担う自律的的特性の解明と治療への展開	神力 悟	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
158	メカニカルストレスに対する軟骨細胞の小胞体ストレス応答の解明	水田 博志	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
159	骨格筋由来ホルモンによる心腎連関の新たな治療介入	泉家 康宏	生命科学研究部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
160	遺伝要因と環境要因による急性心筋梗塞発症、進展、再発リスクの臨床的・基礎的検討	掃本 誠治	生命科学研究部	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
161	間葉性異形成胎盤の診断・管理指針作成に関する研究	大場 隆	生命科学研究部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
162	認知症におけるアパシーの神経基盤に関する研究	池田 学	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
163	口腔癌の薬剤耐性関連エクソソームmicroRNAの同定と診断・治療への応用	中山 秀樹	生命科学研究部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
164	胆道閉鎖症の細胞管化生とSOX9の研究から展開される肝疾患治療のための基盤研究	猪股 裕紀洋	生命科学研究部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
165	再灌流障害における責任冠動脈粥腫性状および微小循環障害の関与と至適治療戦略の開発	辻田 賢一	生命科学研究部	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
166	線維柱帯細胞の食食作用に対する生理活性物質の影響とその調節機構の解明	藤本 智和	生命科学研究部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
167	多発肺腺癌とエストロゲン代謝関連遺伝子多型、肺組織中エストロゲン濃度の関連	白石 健治	生命科学研究部	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
168	心臓専用半導体SPECT装置を用いた心筋血流量及び冠血管予備能の定量化と臨床応用	白石 慎哉	生命科学研究部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
169	網膜再生にかかわる傷害組織再構築を制御する細胞間相互作用に関する研究	福島 美紀子	生命科学研究部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
170	インスリン分泌調節遺伝子を標的とした難治性下垂体腺腫の機能制御と新規治療法開発	矢野 茂敏	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
171	線維化におけるTGF-β情報伝達の関与についての研究	尹 浩信	生命科学研究部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
172	疾患マーカーとしての毛根・毛髪中microRNAの検討	伊方 敏勝	生命科学研究部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
173	難治性口腔癌の分泌型microRNAによる腫瘍微小環境構築の理解と新規治療法開発	吉田 遼司	生命科学研究部	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
174	加齢による声帯粘膜固有層の線維化に対する新たな治療法の開発	宮丸 悟	生命科学研究部	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

175	免疫異常が鍵を握る自律神経疾患における新規自己抗体の探索と病態解明	向野 晃弘	生命科学部	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
176	網膜色素上皮細胞における上皮間葉転換と生物学的意義	高橋 枝里	生命科学部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
177	TTRアミロイドーシス発症・進展の鍵を握るイオンチャネル障害の解析	三隅 洋平	生命科学部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
178	早産ならびに胎児炎症反応症候群の予防を目的とした胎盤絨毛マクロファージの解析	山口 宗影	生命科学部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
179	認知症患者を支える家族の介護負担感が患者に及ぼす影響に関する縦断的研究	小山 明日香	生命科学部	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
180	腎集合尿管酸排泄機構におけるユビキチン-プロテアソーム系の役割の解明	泉 裕一郎	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
181	EpCAM陽性の癌幹細胞を標的とした分子標的薬による難治性卵巣癌の新たな治療戦略	本原 剛志	生命科学部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
182	TN乳癌におけるエクソソームmiRNA発現解析、特に治療効果予測miRNAの検討	末田 愛子	生命科学部	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
183	炎症カスケード解析からこじ開けるアミロイドニューロパチーの病態制御	安東 由喜雄	生命科学部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
184	短鎖脂肪酸受容体の脂肪細胞遺伝子プログラム改変作用を応用した肥満治療法開発	荒木 栄一	生命科学部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
185	アラキドン酸カスケードを介した癌幹細胞制御機構の解明	石本 崇胤	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
186	4次元イメージングを用いた結膜癌化におけるサイトカインの作用に関する研究	谷原 秀信	生命科学部	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
187	ゲノム編集を促進する逆転写酵素阻害剤の開発とその応用	中村 朋文	生命科学部	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
188	反回神経の再生における標的的特異性と過誤神経支配に関する基礎的研究	湯本 英二	生命科学部	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
189	多層検出器CTによるがん治療効果の画像バイオマーカーおよび予後予測システムの開発	中浦 猛	生命科学部	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
190	高精度3次元自動計測ソフトウェアを用いたCT TAVI-Planningの開発	尾田 済太郎	生命科学部	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
191	心臓弁膜症がもたらす心筋壁運動と血流異常に関するCTベクトル機能解析と臨床応用	宇都宮 大輔	生命科学部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
192	冠動脈サブトラクションCTAの撮像法の最適化および狭窄率・プラーク評価の検討	木藤 雅文	生命科学部	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
193	非アルコール性脂肪肝炎の進展における肝内マクロファージ増殖の病態生理学的意義	瀬ノ口 隆文	生命科学部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
194	TNF $\alpha$ 変換酵素による白色脂肪細胞ブラウニング制御を応用した生活習慣病治療法構築	本島 寛之	生命科学部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
195	マイクロRNAによる心不全病態形成の分子機構解明	宮田 敬士	生命科学部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
196	HSP90阻害剤による希少かつ難治な血管肉腫に対する新規治療法	梶原 一亨	生命科学部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
197	高血圧発症における新規長鎖ノンコーディングRNAの機能解明	謝 佩玉	生命科学部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
198	生理活性因子AGFの抗肥満作用機序解明と寿命延長作用の検討	杉崎 太一	生命科学部	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
199	DNA損傷応答因子による心不全病態形成の分子機構解明	田 哲	生命科学部	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
200	微小環境がもたらす肝癌の治療抵抗性の獲得機構-融合プロテオシスを用いた解析-	佐々木 裕	生命科学部	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
201	生理活性物質の動的均衡制御とリアルタイムイメージング技術開発による緑内障治療研究	谷原 秀信	生命科学部	3,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
202	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	馬場 秀夫	生命科学部	3,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
203	食道癌の新規バイオマーカー開発を目指したがん代謝のエピゲノム解析	馬場 祥史	生命科学部	5,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
204	アミロイドーシスに関する調査研究	安東 由喜雄	生命科学部	7,045,000	補委	厚生労働省
205	新しい先天代謝異常症スクリーニング時代に適応した治療ガイドラインの作成および生涯にわたる診療体制の確立に向けた調査研究	中村 公俊	生命科学部	13,877,000	補委	厚生労働省
206	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	尹 浩信	生命科学部	9,999,000	補委	厚生労働省
207	熊本地震発生後の急性脳・心血管疾患発生数と予後に関する研究	掃本 誠治	生命科学部	2,562,000	補委	厚生労働省
208	多面的アプローチを用いた高次脳機能障害患者の復職支援プログラムの開発に関する研究	橋本 衛	生命科学部	9,600,000	補委	厚生労働省
209	治療切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法法の個別化治療に関するコホート研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人先端医療振興財団
210	Stage II / Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討(JFMC41-1001-C2)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補委	財団法人がん集学的治療研究財団



211	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為比較試験(CAS-CARE)	甲斐 豊	医学部附属病院		0	補 委	財団法人先端医療振興財団
212	上皮成長因子受容体遺伝子変異(Exon 19 deletionまたはExon 21 point mutation)がない、または不明である非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法施行後、維持療法として、ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法をベバシズマブ単剤と比較する第Ⅲ相臨床試験(WJOG5610L)	興梠 博次	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
213	KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験(研究略称:EXPERT)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
214	切除不能大腸癌1次治療におけるTS-1, irinotecan, bevacizumab併用療法の有用性を検証する臨床第Ⅲ相試験(TRICOLEUR)	馬場 秀夫	研究部(医)		1,057,840	補 委	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
215	(本体研究) StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3) (付随研究) StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験付随研究	馬場 秀夫	研究部(医)		64,800	補 委	財団法人がん集学的治療研究財団
216	HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたベバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	山本 豊	研究部(医)		0	補 委	一般社団法人JBCRG
217	ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に対する研究(研究略称:STAR ReGISTry)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
218	化学療法未施行T1B/T4期扁平上皮癌に対するCBDCA+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為比較Ⅲ相試験(WJOG7512L)	興梠 博次	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
219	肺癌術前化学療法としてのGemcitabine+S-1療法(GS療法)の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験(Prep-02/JSAP-05)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット
220	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第Ⅱ相試験(SAMRAI-2 TRIAL)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会
221	抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第Ⅱ相試験(JACCRO CC-09)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人 日本がん臨床試験推進機構
222	慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペンタエン酸エチルの二次予防効果の検討 Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy - Statin and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)	坂本 憲治	医学部附属病院		0	補 委	一般財団法人生産開発科学研究所
223	StageⅢ 結腸癌に対する術後補助化学療法としてのS-1+Oxaliplatin(C-SOX)療法の効果・安全性確認試験(KSCC1303)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
224	StageⅢ治療切除胃癌症例におけるTS-1術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究(JACCRO GC-07AR)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
225	切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対するmFOLFOX6 + bevacizumab(BV)療法、または、XELOX + BV療法の治療感受性・耐性因子に関するバイオマーカー研究(WJOG7612GTR)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
226	切除不能進行・再発大腸癌に対する2次治療としてのXELIRIwith/without Bevacizumab療法とFOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験(AXEPT試験)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	特定非営利活動法人疫学臨床試験研究支援機構(NPO法人 ECRIN)
227	HER2 陽性進行・再発乳癌に対するトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法の有用性の検討試験(JBCRG-M03)	山本 豊	研究部(医)		0	補 委	一般社団法人JBCRG
228	ホルモン陽性HER2陰性進行再発乳癌に対する、ホルモン療法による維持療法を利用したベバシズマブ+パクリタキセル療法の治療最適化研究(JBCRG-M04)	山本 豊	研究部(医)		132,923	補 委	一般社団法人JBCRG
229	転移性前立腺癌に対するGnRH アンタゴニスト単剤療法とGnRH アゴニストCAB 療法のランダム化比較試験(KYUCOG-1401)	河野 吉昭	研究部(医)		0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
230	成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100 ツムラ大建中湯(医療用)の有効性に関する検討 一多施設共同による二重盲検無作為比較臨床試験	猪股 裕紀洋	研究部(医)		999,999	補 委	国立大学法人京都大学
231	根治切除可能進行直腸癌に対する術前化学療法としてのSOX療法とmFOLFOX6療法の有用性の検討-ランダム化第Ⅱ相臨床試験-(KSCC1301)	馬場 秀夫	研究部(医)		249,234	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
232	切除不能進行・再発大腸癌患者におけるレゴラフェニブによる疲労・倦怠感に対する経口ステロイド剤予防療法の検討-無作為化、プラセボ対照、二重盲検、第Ⅱ相臨床試験(KSCC1402)	馬場 秀夫	研究部(医)		581,539	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
233	冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為比較試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stent study】	海北 幸一	医学部附属病院		0	補 委	一般財団法人生産開発科学研究所
234	静脈血栓塞栓症前向き追跡研究(AKAFUJI study)	辻田 賢一	研究部(医)		0	補 委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
235	切除不能KRAS 野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ+IRIS療法に関する第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験(KSCC1401)	馬場 秀夫	研究部(医)		0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター

236	切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS 遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ペムズマブ併用療法の第II相試験 (JACCRO CC-11)	馬場 秀夫	研究部(医)	373,848	補 委	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
237	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/ TIA におけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	渡邊 聖樹	医学部附属病院	0	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
238	JFMC46-1201 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV 療法の臨床的有用性に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	515,084	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
239	閉経後ER 陽性進行再発乳癌におけるフルベストラントの至適投与方法の検討(JBCRG-C06)	山本 豊	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人JBCRG
240	思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第I期; 2012年4月-2019年12月)(2015年契約)	片瀨 秀隆	研究部(医)	110,000	補 委	公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社
241	日本人の頭頸部癌患者におけるCetuximabを含む治療の観察研究	大屋 夏生	研究部(医)	269,230	補 委	特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構
242	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study : Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patiEnts with stable coronary artery disease Study)	海北 幸一	医学部附属病院	83,078	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
243	プロテオーム統合データベースjPOSTおよびフォーカスデータベースの開発	荒木 令江	研究部(医)	7,000,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
244	統廃録内障に対する0.4%リバスリル点眼の効果に関する前向き研究	谷原 秀信	研究部(医)	0	補 委	興和株式会社/特定非営利活動法人臨床評価研究所
245	関節リウマチに対するアバセプトの効果の検討(ABT-ATS)	平田 真哉	医学部附属病院	0	補 委	帝京大学臨床研究センター
246	オレンシアを投与された関節リウマチ・動脈硬化症併発患者における、動脈硬化進展の要因となる抗体群の同定と、抗体群・動脈硬化バイオマーカー・構造マーカーに対するオレンシアの有効性の検討(略称:ORACLE Arthritis)	平田 真哉	医学部附属病院	0	補 委	帝京大学臨床研究センター
247	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板併用療法の有効性及び安全性の検討 CSPS.com	安東 由喜雄	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人循環器研究振興財団
248	化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1療法について検討する第II相臨床試験(KSCC1501A)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
249	化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1+トラスツマブ併用療法について検討する第II相臨床試験(KSCC1501B)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
250	遅発型ボンベ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	小篠 史郎	医学部附属病院	58,154	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
251	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するベルツマブ再投与の有効性を検証する第III相臨床研究- ベルツマブ再投与試験 - JBCRG-M05 (PRECIOUS)	山本 豊	研究部(医)	132,923	補 委	一般社団法人JBCRG
252	既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルnab-パクリタキセルのランダム化比較第III相試験	興梠 博次	研究部(医)	324,000	補 委	国立大学法人九州大学
253	エクソームRNA解析によるインフルエンザの予防・診断・治療基盤技術の創出	押海 裕之	研究部(医)	15,460,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
254	RNAモデミクスの確立及び神経・精神疾患への応用	魏 范研	研究部(医)	19,910,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
255	「進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究-CREATIVE-」(研究略称名:CSPOR-melanoma)	尹 浩信	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
256	内分泌療法耐性エストロゲン受容体陽性転移乳がんに対する二次内分泌療法のコホート研究(研究略称名:HORSE-BC研究)	山本 豊	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人CSPOR-BC
257	乳癌の術前・術後化学療法における発熱性好中球減少症に関する観察研究	山本 豊	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人CSPOR-BC
258	局所進行子宮頸癌根治放射線療法施行例に対するUFTによる補助化学療法のランダム化第III相比較試験	片瀨 秀隆	研究部(医)	83,077	補 委	一般社団法人北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム
259	tRNA修飾異常に起因した2型糖尿病のコンパニオン診断薬開発を目指した臨床研究	富澤 一仁	研究部(医)	35,960,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
260	骨髄不全症候群および発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)疑い症例におけるGPIアンカー膜蛋白欠損血球の保有率とその意義を明らかにするための観察研究(OPTIMA)	米村 雄士	医学部附属病院	500,000	補 委	一般社団法人日本PNH研究会
261	骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究(SUPREMACY)	米村 雄士	医学部附属病院	500,000	補 委	一般社団法人日本PNH研究会
262	JBCRG-M05 (PRECIOUS) Tissue-TR「HER2陽性の進行・再発乳癌に対するベルツマブ再投与の有効性を検証する第III相臨床研究-ベルツマブ再投与試験-組織に関する付随研究」	山本 豊	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人JBCRG
263	産婦人科学分野に関する学術研究動向 -子宮筋腫・子宮内膜症・子宮筋腫の妊孕性に及ぼす影響-	片瀨 秀隆	研究部(医)	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
264	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第I期;2012年4月-2019年12月)(2016年契約)	片瀨 秀隆	研究部(医)	80,000	補 委	公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社
265	組織修復に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明と制御	尾池 雄一	研究部(医)	41,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
266	心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管恒常性メカニズムの解明	向山 政志	研究部(医)	4,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

267	脳・腸連関を支える自律神経系の理解から恒常性維持機構の解明へ	太田 訓正	研究部(医)	10,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
268	iPS細胞を用いた再生医療における組織不適合の解決	千住 覚	研究部(医)	34,436,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
269	iPS細胞ストックを基盤とする進行胃がんに対する免疫細胞療法の開発	千住 覚	研究部(医)	20,259,231	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
270	糖尿病患者における肝細胞癌発生の実態把握とその分子機構	荒木 栄一	研究部(医)	7,080,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
271	強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究	尹 浩信	研究部(医)	22,315,386	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
272	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究	橋本 衛	研究部(医)	52,307,693	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
273	局所進行胃癌・食道胃接合部癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の有効性・安全性について検討する第II相臨床試験(KSCC1601)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
274	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究): Japan Acute Myocardial Infarction Registry	小島 淳	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人循環器病研究振興財団
275	硫酸抱合型尿毒症物質産生阻害薬の探索一創薬標的蛋白のバリデーション及びスクリーニング系の基礎的検討	齋藤 秀之	医学部附属病院	10,643,800	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
276	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	満屋 裕明	医学部附属病院	84,735,800	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
277	多剤耐性HIV変異株に強力で高いCNS透過性を有する新規抗HIV薬の開発と実用化	満屋 裕明	医学部附属病院	84,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
278	内転型痙攣性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	62,774,080	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
279	Cdk1リスタアレル保有2型糖尿病患者に対する治療薬ならびにコンパニオン診断技術の開発	富澤 一仁	研究部(医)	41,450,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
280	エピゲノム解析を起点としたうつ症状の病態と抗うつ作用機序の解析	岩本 和也	研究部(医)	8,976,154	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
281	比較エピゲノム解析から明らかにする前頭葉神経細胞の機能進化に関する研究	文東 美紀	研究部(医)	1,272,728	補 委	大学共同利用機関法人自然科学研究機構
282	局所進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン/nab-パクリタキセル(アブラキサン <sup>®</sup> )胸部放射線同時併用化学療法の臨床第I/II相試験	佐伯 祥	医学部附属病院	0	補 委	一般財団法人九州臨床研究支援センター
283	視能が高齢者の身体機能に与える影響および予防・治療法の標準化に関する研究	谷原 秀信	研究部(医)	400,000	補 委	国立長寿医療研究センター
284	在宅介護におけるネガティブアウトカムを呈する介護者の迅速な同定法の確立: サポートスキーム構築に向けて	橋本 衛	研究部(医)	500,000	補 委	国立長寿医療研究センター
285	神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究(分担研究課題: 自己抗体介在性神経疾患の診断と治療に関する研究(自己抗体と病態関連に関する研究))	安東 由喜雄	研究部(医)	400,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
286	国際協調に基づく臨床研究基盤としての神経筋疾患ナショナルレジストリーの活用と希少な難治性疾患への展開を目指した研究(分担研究課題: 眼咽頭筋ジストロフィーの臨床評価とレジストリーの構築、及び効果的な運用に関する研究)	山下 賢	研究部(医)	378,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
287	iPS細胞を用いた治療法における組織不適合ならびに発がんリスクの問題の革新的解決法の開発	千住 覚	研究部(医)	1,000,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
288	iPS細胞由来のミエロイド系細胞ライン(iPS-ML)の臨床応用への基盤整備	千住 覚	研究部(医)	500,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
289	医療事故の発生を抑制する医療事故発生予測技術を可能とするビッグデータ解析基盤の研究開発	宇宿 功市郎	医学部附属病院	400,000	補 委	九州総合通信局
290	循環器疾患診療実態調査(JROAD)におけるJROAD-DPCと臨床データのValidationに関する研究(分担研究課題: 虚血性心疾患に関するValidation)	辻田 賢一	研究部(医)	560,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
291	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担研究課題: 冠動脈硬化の可視化・内皮機能障害の評価)	辻田 賢一	研究部(医)	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
292	本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究(分担課題名: 心機能データ解析)	高潮 征衛	医学部附属病院	500,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
293	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担課題名: 血糖変動と動脈硬化性疾患の関連解析)	掃本 誠治	研究部(医)	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
294	循環調節分子の生体での機能解明による新規治療の開発基盤研究(分担課題名: 心筋由来分泌因子の機能解明による新規心不全治療法の開発基盤研究)	尾池 雄一	研究部(医)	800,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
295	ツパイ自然免疫応答の解析	押海 裕之	研究部(医)	3,076,923	補 委	公益財団法人東京都医学総合研究所
296	遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の第2/3相試験	山下 賢	研究部(医)	2,000,000	補 委	国立大学法人東北大学
297	新生児タンデムマススクリーニング対象疾患の診療ガイドライン改訂、診療の質を高めるための研究	中村 公俊	研究部(医)	700,000	補 委	国立大学法人岐阜大学
298	未承認薬の早期臨床開発試験における薬物動態・薬力学解析・薬理遺伝学解析の標準化に関する研究(呼吸器領域の臨床試験)	佐伯 祥	医学部附属病院	200,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

299	エベロリムス溶出性コバルトクロムステント留置後の抗血小板剤2剤併用療法(DAPT)期間を1ヶ月に短縮することの安全性を評価する研究 [Short and Optimal duration of Dual AntiPlatelet Therapy study after everolimus-eluting cobalt-chromium stent -2 (STOPDAPT2)]	掃本 誠治	研究部(医)	0	補 委	一般財団法人生産開発科学研究所
300	家族性アミロイドポリニューロパチー治療への実用化を目指した新規マルチターゲット型アミロイドーシス治療薬の治療効果の検証	城野 博史	医学部附属病院	1,000,000	補 委	国立大学法人九州大学
301	J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	荒木 栄一	研究部(医)	300,000	補 委	国立国際医療研究センター
302	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究	中村 英夫	医学部附属病院	500,000	補 委	国立大学法人埼玉医科大学
303	脳脊髄液減少症における自律神経機能異常の関与の検討	中根 俊成	医学部附属病院	1,000,000	補 委	国立大学法人埼玉医科大学
304	平成28年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が致急搬送に及ぼす影響の疫学研究))	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,940,720	補 委	国立研究開発法人国立環境研究所
305	平成28年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((5)粒子成分、黄砂の急性心筋梗塞・心肺停止発症に対する影響と高感受性集団に関する研究))	小島 淳	研究部(医)	4,321,074	補 委	国立研究開発法人国立環境研究所
306	新規がん抗原長鎖ペプチドを併用する複合がん免疫療法の開発	西村 泰治	研究部(医)	7,692,308	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
307	HTLV-1疫学研究及び検査法の標準化に関する研究	野坂 生郷	医学部附属病院	1,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
308	サリドマイド等が胎児に及ぼす影響の評価に関する研究	若山 友彦	研究部(医)	615,385	補 委	学校法人慶應義塾
309	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	猪股 裕紀洋	研究部(医)	230,770	補 委	国立大学法人九州大学
310	OTC欠損症に関する疫学調査、OTCパイロット陽性例に対する診断・治療体制の検討	中村 公俊	研究部(医)	1,153,847	補 委	国立大学法人島根大学
311	慢性疲労症候群の血清学的診断法の新規開発	中根 俊成	医学部附属病院	1,538,462	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
312	悪性黒色腫における免疫応答解析に基づくがん免疫療法効果予測診断法の確立	福島 聡	医学部附属病院	11,153,847	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
313	難治性がんの間質を標的とした分子イメージング法の開発	黒田 順一郎	研究部(医)	769,231	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
314	超高齢者社会における治療困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究	馬場 秀夫	研究部(医)	307,695	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
315	成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立およびゲノム解析に基づく治療法の最適化に関する研究	松野 直史	研究部(医)	500,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
316	慢性痛の一つの原因である神経障害性疼痛治療に用いるプレガバリンの作用メカニズム	山本 達郎	研究部(医)	2,000,000	補 委	出水市病院事業
317	腫瘍間質細胞を介した胃癌進展機構の解明	馬場 秀夫	研究部(医)	3,000,000	補 委	出水市病院事業
318	Dissecting the molecular evolution of acral melanoma to identify therapeutic targets(末端部黒子型悪性黒色腫に対する合理的治療法の開発)	福島 聡	医学部附属病院	0	補 委	カリフォルニア大学
319	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究	馬場 秀夫	研究部(医)	76,924	補 委	愛知県がんセンター
320	冠動脈CTにおける完全型逐次近似画像再構成法の効果	宇都宮 大輔	研究部(医)	1,000,000	補 委	出水市病院事業
321	皮膚癌の病態について	尹 浩信	研究部(医)	1,000,000	補 委	出水市病院事業
322	臨床データの収集とシステム検証	橋本 衛	研究部(医)	334,960	補 委	国立大学法人大阪大学
323	高齢者化学療法未施行III期/IV期扁平上皮がんに対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第III相試験	興梠 博次	研究部(医)	166,155	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
324	遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用(CADASIL患者データベースの登録及びNotch3遺伝子異常の探索)	安東 由喜雄	研究部(医)	615,385	補 委	国立大学法人三重大学
325	プロジェクト2 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する標準治療確立のための医師主導臨床試験	菊川 佳敬	研究部(医)	226,924	補 委	国立大学法人鹿児島大学
326	新規分子標的治療をめざした卵巣癌幹細胞の研究	坂口 勲	医学部附属病院	1,000,000	補 委	出水市病院事業
327	ライフデザイン啓発事業	大場 隆	研究部(医)	428,500	補 委	熊本県
328	肺腺癌の生存シグナル維持を担う分子標的の特性解明と特異的阻害剤の研究開発	山口 知也	研究部(医)	5,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
329	持続する発熱性好中球減少症に対する従来型の経験的抗真菌治療とD-indexに基づく早期抗真菌治療の無作為割付比較試験(CEDMIC trial)(日本FN研究会 第6次研究)	宮川 寿一	医学部附属病院	115,385	補 委	特定非営利活動法人 臨床血液・腫瘍研究会 イービーエス株式会社
330	ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合によるHTLV-1関連疾患の診療支援全国ネットワークの確立	松岡 雅雄	研究部(医)	11,538,000	補 委	国立大学法人京都大学

331	脳神経系細胞分画技術を基盤とした体細胞変異の解析	文東 美紀	研究部(医)	6,362,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
332	先進的治療法が確立した新たな成育疾患のスクリーニング法の開発とその適応基準の作成に関する研究(1. ラインゾーム病の新生児スクリーニングの実施とその解析 2. ラインゾーム病のハイスクリーニングの実施とその解析)	中村 公俊	研究部(医)	750,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
333	成人における未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	安東 由喜雄	研究部(医)	7,307,693	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
334	平成28年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	7,394,488	補 委	国立研究開発法人国立環境研究所
335	赤血球製剤使用ガイドラインの改訂	米村 雄士	医学部附属病院	200,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
336	重症熱性血小板減少症候群患者を対象としたファビピラビルの臨床試験	川口 辰哉	医学部附属病院	0	補 委	国立大学法人愛媛大学医学部附属病院 株式会社新日本科学臨床薬理研究所
337	膠芽腫の術後照射におけるターゲットの線量分布変化の検討	松山 知彦	医学部附属病院	1,000,000	補 委	出西市病院事業
338	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	2,000,000	補 委	出西市病院事業
339	鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する内視鏡下頭蓋底手術の標準化を目指した多施設共同研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	200,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
340	分化型甲状腺癌を対象としたレンパチニブの治療効果探索のためのコホート研究	岩瀬 弘敬	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
341	低リスク骨髄異形成症候群におけるダルベポエチン アルファに対する反応性に関する解析	松岡 雅雄	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
342	平成28年度子どもの健康と環境に関する全国調査 南九州・沖縄ユニットセンター委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	159,272,871	補 委	環境省
343	予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究	中村 英夫	医学部附属病院	0	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
344	遅発型ボンベ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	小篠 史郎	医学部附属病院	0	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
345	根治療法後に再発を来した非転移性の去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの臨床効果および安全性の検討(JCASTRE-Zero)	神波 大己	研究部(医)	0	補 委	公益財団法人先端医療振興財団
346	regorafenib投与後の画像変化と治療効果に関する後方視的コホート研究(KSCC1603)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
347	Dissecting the molecular evolution of acral melanoma to identify therapeutic targets (末端部黒子型悪性黒色腫に対する合理的治療法の開発)	福島 聡	医学部附属病院	0	補 委	カリフォルニア大学

347件

1,425,124,592

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sato R, Nakano T, Hosonaga M, et al.	呼吸器内科	RNA Sequencing Analysis Reveals Interactions between Breast Cancer or Melanoma Cells and the Tissue Microenvironment during Brain Metastasis	BioMed Research International.2017 Jan(オ ンライン)	Original Article
2	Saruwatari K, Umemura S, Nomura S, et al.	呼吸器内科	Prognostic Factor Analysis in Patients With Small-Cell Lung Cancer Treated With Third-Line Chemotherapy.	Clinical Lung Cancer.2016 Nov;17:581-587	Original Article
3	Tomita Y, Lee MJ, Lee S, et al.	呼吸器内科	The interplay of epigenetic therapy and immunity in locally recurrent or metastatic estrogen receptor-positive breast cancer: Correlative analysis of ENCORE 301, a randomized, placebo- controlled phase II trial of exemestane with or without entinostat.	Oncoimmunology.2016 Aug(オンライン)	Original Article
4	Sakata S, Saeki S, Okamoto I, et al.	呼吸器内科	Phase II trial of weekly nab-paclitaxel for previously treated advanced non-small cell lung cancer: Kumamoto thoracic oncology study group (KTOSG) trial 1301	Lung Cancer.2016 Sep;99:41-45	Original Article
5	Kakizoe Y, Miyasato Y, Onoue T, et al.	腎臓内科	A serine protease inhibitor attenuates aldosterone-induced kidney injuries via the suppression of plasmin activity.	J Pharmacol Sci.2016 Oct;132:145-153	Original Article

小計5件

6	Araki E, Onishi Y, Asano M, et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Efficacy and safety of dapagliflozin in addition to insulin therapy in Japanese patients with type 2 diabetes: Results of the interim analysis of 16-week double-blinded treatment period.	J Diabetes Invest .2016 Jul;7:555-564	Original Article
7	Shimoda S, Sato M, Sekigami T, et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	A 1-year, prospective, observational study of Japanese outpatients with type 1 and type 2 diabetes switching from insulin glargine or detemir to insulin degludec in basal-bolus insulin therapy (Kumamoto Insulin Degludec Observational study)	J Diabetes Invest.2016 Sep;7:703-710	Original Article
8	Kondo T, Goto R, Ono K, et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Activation of heat shock response to treat obese subjects with type 2 diabetes: a prospective, frequency-escalating, randomized, open-label, triple-arm trial.	Sci Rep:2016 Oct (オンライン)	Original Article
9	Araki E, Onishi Y, Asano M, et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Efficacy and safety of dapagliflozin over 1 year as add-on to insulin therapy in Japanese patients with type 2 diabetes: DAISY trial	Diabetes. Obes. Metab.2017 Feb;19:562-570	Original Article
10	Arima Y, Kaikita K, Ishii M, et al.	循環器内科(専門医療実践学寄附講座)	Assessment of platelet-derived thrombogenicity by the total thrombus-formation analysis system in coronary artery disease patients on antiplatelet therapy.	Journal of Thrombosis and Haemostasis.2016 Apr;14:850-859	Original Article
11	Hokimoto S, Soejima H, Kojima S, et al.	循環器内科	Distribution of ankle-brachial index among in patients with cardiovascular disease: analysis using the Kumamoto University hospital medical database.	Annals of Vascular Diseases.2016 Apr;9:22-29	Original Article

小計6件

12	Yamabe H, Kanazawa H, Itoh M, et al.	循環器内科(不整脈先端医療寄附講座)	Difference in the maintenance mechanism of atrial fibrillation perpetuated after pulmonary vein isolation between paroxysmal and persistent atrial fibrillation: Effects of subsequent stepwise ablation.	International Journal of Cardiology .2016 May;210:109-118	Original Article
13	Tabata N, Hokimoto S, Akasaka T, et al.	循環器内科	Helicobacter pylori-seropositivity along with pro-inflammatory Interleukin-1 Polymorphisms Correlated with Myocardial Infarction.	Clinical Trials and Regulatory Science in Cardiology .2016 May;17:9-14	Original Article
14	Ishii M, Kaikita K, Sato K, et al.	循環器内科	Impact of statin therapy on clinical outcome in patients with coronary spasm.	Journal of the American Heart Association.2016 May(オンライン)	Original Article
15	Tabata N, Hokimoto S, Akasaka T, et al.	循環器内科	Helicobacter Pylori-seropositivity along with genetic and environmental factors predicts clinical outcome after acute coronary syndrome.	International Journal of Cardiology .2016 Jun;212:54-56	Original Article
16	Akasaka T, Hokimoto S, Sueta D, et al.	循環器内科	Gender differences in the impact of CYP2C19 polymorphisms and low-grade inflammation on coronary microvascular disorder.	American Journal of Physiology: Heart and Circulatory Physiology.2016 Jun;310:1494-1500	Original Article
17	Hokimoto S, Tabata N, Sueta D, et al.	循環器内科	The real-world prevalence of cardiovascular events related to coronary spasm after percutaneous coronary intervention.	Journal of Cardiology.2016 Jul;68:20-28	Original Article
18	Onoue Y, Izumiya Y, Hanatani S, et al.	循環器内科	A simple sarcopenia screening test predicts future adverse events in patients with heart failure.	International Journal of Cardiology .2016 Jul;215:301-306	Original Article

小計7件



19	Tsujita K, Yamanaga K, Komura N, et al.	循環器内科	Lipid profile associated with coronary plaque regression in patients with acute coronary syndrome: subanalysis of PRECISE-IVUS trial.	Atherosclerosis.2016 Aug;251:367-372	Original Article
20	Tsujita K, Yamanaga K, Komura N, et al.	循環器内科	Synergistic effect of ezetimibe addition on coronary atheroma regression in patients with prior statin therapy: subanalysis of PRECISE-IVUS trial.	European Journal of Preventive Cardiology.2016 Sep;23:1524-1528	Original Article
21	Ishii M, Kaikita K, Sato K, et al.	循環器内科	Changes in the risk factors for coronary spasm.	IJC Heart & Vasculature.2016 Sep;12:85-87	Original Article
22	Sueta D, Kaikita K, Okamoto N, et al.	循環器内科	Efficacy Study of the COmbination of Edoxaban and Physiotherapy on the PREvention of Venous- Thromboembolism in patients after Total Knee Arthroplasty (ESCORT-TKA Trial): Study protocol for a randomized controlled trial.	Clinical Trials and Regulatory Science in Cardiology.2016 Jul;19:1- 4	Original Article
23	Tsujita K, Yamanaga K, Komura N, et al.	循環器内科	Clinical and morphological presentations of acute coronary syndrome without coronary plaque rupture - An intravascular ultrasound study.	International Journal of Cardiology .2016 Oct;220:112-115	Original Article
24	Ishii M, Kaikita K, Sato K, et al.	循環器内科	Impact of aspirin on the prognosis in patients with coronary spasm without significant atherosclerotic stenosis.	International Journal of Cardiology .2016 Oct;220:328-332	Original Article
25	Sueta D, Arima Y, Hokimoto S, et al.	循環器内科	Unprotected left main intervention for surgery-ineligible patients with coronary artery disease-Usefulness of micro-CT images for stent.	International Journal of Cardiology .2016 Oct;221:358-389	Original Article

小計7件

26	Hokimoto S, Tabata N, Yamanaga K, et al.	循環器内科	Prevalence of coronary macro- and micro-vascular dysfunctions after drug-eluting stent implantation without in-stent restenosis	International Journal of Cardiology .2016 Nov;222:185-194	Original Article
27	Tabata N, Sueta D, Akasaka T, et al.	循環器内科	Helicobacter pylori Seropositivity in Patients with Interleukin-1 Polymorphisms Is Significantly Associated with ST- Segment Elevation Myocardial Infarction.	PLoS ONE .2016 Nov(オ ンライン)	Original Article
28	Sueta D, Kojima S, Izumiya Y, et al.	循環器内科	A destabilized case of stable effort angina pectoris induced by low-dose adenosine triphosphate.	Internal Medicine.2016 Nov;55:3291-3294	Original Article
29	Tokitsu T, Yamamoto E, Hirata Y, et al.	循環器内科	Clinical significance of pulse pressure in patients with heart failure with preserved left ventricular ejection fraction.	European Journal of Heart Failure.2016 Nov;18:1353-1361	Original Article
30	Yamamoto E, Sugiyama S, Hirata Y, et al.	循環器内科	Prognostic significance of circulating leukocyte subtype counts in patients with coronary artery disease.	Atherosclerosis.2016 Dec;255:210-216	Original Article
31	Akasaka T, Sueta D, Arima Y, et al.	循環器内科	Association of CYP2C19 variants and epoxyeicosatrienoic acids on patients with microvascular angina.	American Journal of Physiology: Heart and Circulatory Physiology.2016 Dec;311:1409-1415	Original Article
32	Yamabe H, Kanazawa H, Ito M, et al.	循環器内科(不整脈先端医 療寄附講座)	Prevalence and mechanism of rotor activation identified during atrial fibrillation by noncontact mapping: Lack of evidence for a role in the maintenance of atrial fibrillation.	Heart Rhythm .2016 Dec;13:2323-2330	Original Article

小計7件

33	Akasaka T, Hokimoto S, Sueta D, et al.	循環器内科	Clinical outcomes of percutaneous coronary intervention for acute coronary syndrome between hospitals with and without onsite cardiac surgery backup.	Journal of Cardiology.2017 Jan;69:103-109	Original Article
34	Hirakawa K, Yamamuro M, Uemura T, et al.	循環器内科	Correlation between microvascular dysfunction and B-type natriuretic peptide levels in non-ischemic heart failure patients with cardiac fibrosis.	International Journal of Cardiology .2017 Feb;228:881-885	Original Article
35	Sueta D, Hokimoto S, Sakamoto K, et al.	循環器内科	Validation of the high mortality rate of Malnutrition - Inflammation - Atherosclerosis syndrome: - Community-based observational study-	International Journal of Cardiology .2017 Mar;230:97-102	Original Article
36	Nakane S, Furutani K, Harada M, et al.	神経内科	Multimodal analysis based on high-field magnetic resonance and motor evoked potentials.	Clinical & Experimental Neuroimmunology.2017 Feb;8:43-46	Original Article
37	Misumi Y, Narita Y, Oshima T, et al.	神経内科	Recipient Aging Accelerates Acquired Transthyretin Amyloidosis After Domino Liver Transplantation.	Liver Transplantation.2016 May;22:656-664	Original Article
38	Mukaino A, Nakane S, Higuchi O, et al.	神経内科	Insights from the ganglionic acetylcholine receptor autoantibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Modern Rheumatology.2016 Sep;26:708-715	Original Article
39	Nakane S, Izumi Y, Oda M, et al.	神経内科	A Potential Link between Amyotrophic Lateral Sclerosis and Bullous Pemphigoid: Six New Cases and a Systematic Review of the Literature.	Internal Medicine.2016 Aug;55:1985-1990	Original Article

小計7件

40	Nakane S, Higuchi O, Hamada Y, et al.	神経内科	Ganglionic acetylcholine receptor autoantibodies in patients with Guillain-Barré syndrome.	Journal of Neuroimmunology.2016 Jun;295-296:54-59	Original Article
41	Sugimura Y, Hoshino H.	神経内科	Difficulty in Applying Recombinant Tissue Plasminogen Activator (rt-PA).	Internal Medicine.2016 Apr;55:1027-1028	Original Article
42	Sugimura Y, Koike K, Terao S, et al.	神経内科	Good outcome case of anterior cerebral artery dissection that was treated with recombinant tissue plasminogen activator and trapping with A3-A3 anastomosis surgery.	Neurology and Clinical Neuroscience.2016 Sep;4:195-196	Original Article
43	Fukui T, Okamoto K, Tazume H, et al.	心臓血管外科	Off-pump coronary artery bypass grafting as a standard surgical revascularization strategy.	J Jpn Coron Assoc.2016 Dec;22:231-238	Original Article
44	Ikeda K, Shiraishi K, Yoshida A, et al.	呼吸器外科	Synchronous Multiple Lung Adenocarcinomas: Estrogen Concentration in Peripheral Lung.	PLoS One.2016 Aug(オンライン)	Original Article
45	Baba H, Yamada Y, Takahari D, et al.	消化器外科	S-1 and oxaliplatin (SOX) plus bevacizumab versus mFOLFOX6 plus bevacizumab as first-line treatment for patients with metastatic colorectal cancer: updated overall survival analyses of the open-label, non-inferiority, randomized phase 3: SOFT study.	ESMO Open.2017 Mar(オンライン)	Original Article
46	Chikamoto A, Kaida T, Arima K, et al.	医療安全管理部	Heat injury to the inferior vena cava by bipolar tissue sealer.	Surgical Endoscopy.2016 Apr;30:1519-1522	Original Article

小計7件

47	Yoshida an, Baba Y, Shigaki H, et al.	消化器外科	Preoperative Nutritional Assessment by Controlling Nutritional Status (CONUT) is Useful to estimate Postoperative Morbidity After Esophagectomy for Esophageal Cancer.	World Journal of Surgery.2016 Aug;40:1910-1917	Original Article
48	Yoshida N, Baba Y, Shigaki H, et al.	消化器外科	Risk factors of early recurrence within 6 months after esophagectomy following neoadjuvant chemotherapy for resectable advanced esophageal squamous cell carcinoma.	International Journal of Clinical Oncology.2016 Dec;21:1071-1078	Original Article
49	Yoshida N, Baba Y, Shigaki H, et al.	消化器外科	Effect of Esophagus Position on Surgical Difficulty and Postoperative Morbidities After Thoracoscopic Esophagectomy.	Seminars in Thoracic and Cardiovascular Surgery.2016 Spring;28:172-179	Original Article
50	Yoshida N, Imamura Y, Baba Y, et al.	消化器外科	Pathogenesis of Acute Gastroesophageal Reflux Disease might be Changing.	Translational Cancer Research.2016 Oct;5:645- 647	Original Article
51	Yoshida N, Tamaaki Y, Baba Y, et al.	消化器外科	Incidence and risk factors of synchronous colorectal cancer in patients with esophageal cancer: an analysis of 480 consecutive colonoscopies before surgery.	International Journal of Clinical Oncology.2016 Dec;21:1079-1084	Original Article
52	Yamashita Y, Yoshizumi T, Ikegami T, et al.	消化器外科 (消化器癌集学の治療学寄 附講座)	Inquiries About Biomarkers of Acute Liver Failure in Patients Who Underwent Living Donor Liver Transplantation Using a Protein Chip Array	Fukuoka Acta Medica.2016 Jul;107:131- 135	Original Article

小計6件

53	Yamashita Y, Imai K, Tsujiata E, et al.	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄 附講座)	Selective venous occlusions for reducing blood loss during right anterior sectionectomy of the liver for hepatocellular carcinoma.	Journal of the American College of Surgeons.2017 Feb;224:5-9	Original Article
54	Yamashita Y, Wang H, Kurihara T, et al.	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄 附講座)	Clinical significances of preoperative classification of intrahepatic cholangiocarcinoma: different characteristics of perihilar vs. peripheral ICC.	Anticancer Research.2016 Dec;36:6563-6569	Original Article
55	Yamashita Y, Yoshizumi T, Fukuzawa K, et al.	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄 附講座)	Surgical Results of Pancreaticoduodenec tomy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: a Multi-institutional Retrospective Study of 174 patients.	Anticancer Research.2016 May;36:2407-2412	Original Article
56	Sakamoto Y, Sakamoto Y, Miyamoto Y, et al.	消化器外科	Cryptogenic repetitive severe colitis after ileostomy closure.	International Cancer Conference Journal.2016 Apr;5:104-106	Original Article
57	Sakamoto Y, Tokunaga R, Miyamoto Y, et al.	消化器外科	Retroileal colorectal anastomosis after extended left colectomy: application for laparoscopic surgery.	Surgery Today.2016 Dec;46:1476-1478	Original Article
58	Baba Y, Baba H, Yamamoto S, et al.	消化器外科	Chemotherapy- induced nausea and vomiting is less controlled at delayed phase in patients with esophageal cancer	Diseases of the Esophagus.2017 Feb;30:1-7	Original Article
59	Baba Y, Ishimoto T, Kurashige J, et al.	消化器外科	Epigenetic field cancerization in gastrointestinal cancers.	Cancer Letters.2016 Jun;375:360-366	Original Article

小計7件

60	Baba Y, Saeki H, Nakashima Y, et al.	消化器外科	Review of chemotherapeutic approaches for operable and inoperable esophageal squamous cell carcinoma.	Diseases of the Esophagus.2017 Feb;30:1-7	Original Article
61	Baba Y, Yoshida N, Shigaki H, et al.	消化器外科	Prognostic Impact of Postoperative Complications in 502 Patients With Surgically Resected Esophageal Squamous Cell Carcinoma: A Retrospective Single-institution Study.	Annals of Surgery.2016 Aug;264:305-311	Original Article
62	Hashimoto D, Arima K, Chikamoto A, et al.	消化器外科	Limited resection of the duodenum for non-ampullary duodenal tumors, with review of the literature	The American Surgeon.2016 Dec;82:1126-1132	Original Article
63	Hashimoto D, Arima K, Yokoyama N, et al.	消化器外科	Heterogeneity of KRAS Mutations in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Pancreas.2016 Sep;45:1111-1114	Original Article
64	Hashimoto D, Chikamoto A, Arima K, et al.	消化器外科	Unused sterile instruments for closure prevent wound surgical site infection after pancreatic surgery	Journal of Surgical Research.2016 Sep;205:38-42	Original Article
65	Hashimoto D, Chikamoto A, Harimoto N, et al.	消化器外科	A comparative study on the complications of conventional and end-to-side inserting pancreatojejunostomy after pancreaticoduodenectomy.	Surgery Today.2017 Feb;47:238-244	Original Article
66	Hashimoto D, Chikamoto A, Taki K, et al.	消化器外科	Residual total pancreatectomy: Short- and long-term outcomes.	Pancreatology.2016 Aug;16:646-651	Original Article
67	Imai K, Allard MA, Castro Benitez C, et al.	消化器外科	Early Recurrence After Hepatectomy for Colorectal Liver Metastases: What Optimal Definition and What Predictive Factors?	The Oncologist.2016 Jul;21:887-894	Original Article

小計8件

68	Imai K, Allard MA, Castro Benitez C, et al.	消化器外科	Nomogram for prediction of prognosis in patients with initially unresectable colorectal liver metastases.	British Journal of Cancer.2016 Apr;103:590-599	Original Article
69	Mima K, Cao Y, Chan AT, et al.	消化器外科	Fusobacterium nucleatum in Colorectal Carcinoma Tissue According to Tumor Location.	Clinical and Translational Gastroenterology2016 Nov;7:200	Original Article
70	Mima K, Nishihara R, Yang J, et al.	消化器外科	MicroRNA MIR21 (miR-21) and PTGS2 Expression in Colorectal Cancer and Patient Survival.	Clinical Cancer Research.2016 Aug;22:3841-3848	Original Article
71	Mima K, Jonathan A. Nowak, Zhi Rong Qian, et al.	消化器外科	Tumor LINE-1 methylation level and colorectal cancer location in relation to patient survival.	Oncotarget.2016 Aug;7:55098-55109	Original Article
72	Nakagawa S, Lan Wei, Won Min Song, et al.	消化器外科	Molecular liver cancer prevention in cirrhosis by organ transcriptome analysis and lysophosphatidic acid pathway inhibition.	Cancer Cell.2016 Dec;30:879-890	Original Article
73	Sawayama H, Miyanari N, Morita K, et al.	消化器外科	Surgical management of partial dentures in the cervicothoracic esophagus	Esophagus.2016 Jul;13:270-275	Original Article
74	Karashima R, Kimura M, Taura N, et al.	救急・総合診療部	Total extraperitoneal approach for incarcerated obturator hernia repair.	Hernia.2016 Jun;20:479-482	Original Article

小計7件



75	Tokunaga R, Imamura Y, Nakamura K, et al.	消化器外科	Fibroblast growth factor receptor 2 expression, but not its genetic amplification, is associated with tumor growth and worse survival in esophagogastric junction adenocarcinoma.	Oncotarget.2016 Apr;7:19748-19761	Original Article
76	Tokunaga R, Sakamoto Y, Nakagawa S, et al.	消化器外科	CONUT: a novel independent predictive score for colorectal cancer patients undergoing potentially curative resection.	International Journal of Colorectal Disease.2017 Jan;32:99-106	Original Article
77	Tomiguchi M, Yamamoto Y, Yamamoto-Ibusuki M, et al.	乳腺・内分泌外科	Fibroblast growth factor receptor-1 protein expression is associated with prognosis in estrogen receptor-positive/human epidermal growth factor receptor-2-negative primary breast cancer.	Cancer Science.2016 Apr;107:491-498	Original Article
78	Yoshii D, Yokouchi Y, Suda H, et al.	小児外科・移植外科	SOX9-positive hepatocytes mediate the progression of ductular reaction in biliary atresia	International Journal of Clinical and Experimental Pathology.2016;9:5077-5086	Original Article
79	Honda M, Sugawara Y, Watanabe T, et al.	小児外科・移植外科	Outcomes of treatment with daclatasvir and asunaprevir for recurrent hepatitis C after liver transplantation.	Hepatology Research.2017 Jan(オンライン)	Original Article
80	Sakisaka M, Haruta M, Komohara Y, et al.	小児外科・移植外科	Therapy of primary and metastatic liver cancer by human iPS cell-derived myeloid cells producing interferon- $\beta$ .	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences.2017 Feb;24:109-119	Original Article

小計6件

81	Honda M, Takeichi T, Hashimoto S, et al.	小児外科・移植外科	Intravital Imaging of Neutrophil Recruitment Reveals the Efficacy of FPR1 Blockade in Hepatic Ischemia-Reperfusion Injury.	The Journal of Immunology.2017 Feb;198:1718-1728	Original Article
82	Honda M, Sakamoto S, Sakamoto R, et al.	小児外科・移植外科	Antibody-mediated rejection after ABO-incompatible pediatric living donor liver transplantation for propionic acidemia: A case report.	Pediatric Transplantation.2016 Sep;20:840-845	Original Article
83	Kawabata S, Sakamoto S, Honda M, et al.	小児外科・移植外科	Liver transplantation for a patient with Turner syndrome presenting severe portal hypertension: a case report and literature review.	Surgical Case Reports.2016 Dec;2:68-68	Original Article
84	Sugawara Y, Inomata Y.	小児外科・移植外科	Indications for living donor liver transplantation in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatobiliary Surgery and Nutrition.2016 Oct;5:429-432	Original Article
85	Oya Y, Sugawara Y, Watanabe T, et al.	小児外科・移植外科	Ledipasvir and sofosbuvir for recurrent hepatitis C after liver transplantation.	Bi Science Trends.2017 Jan;16:496-499	Original Article
86	Kamba T, Kamoto T, Maruo S, et al.	泌尿器科	A phase III multicenter, randomized, controlled study of combined androgen blockade with versus without zoledronic acid in prostate cancer patients with metastatic bone disease: results of the ZAPCA trial.	Int J Clin Oncol.2017 Feb;22:166-173	Original Article
87	Motoshima T, Komohara Y, Ma C, et al.	泌尿器科	PD-L1 expression in papillary renal cell carcinoma.	BMC Urol.2017 Jan;17:8-8	Original Article

小計7件

88	Kawano Y, Takahashi W, Eto M, et al.	泌尿器科	Prognosis of metastatic renal cell carcinoma with first-line interferon- $\alpha$ therapy in the era of molecular-targeted therapy.	Cancer Sci.2016 Jul;107:1013-1017	Original Article
89	Motohara T, Fujimoto K, Tayama S, et al.	産婦人科	CD44 Variant 6 as a Predictive Biomarker for Distant Metastasis in Patients With Epithelial Ovarian Cancer.	Obstet Gynecol.2016 Jun;127:1003-1011	Original Article
90	Tsuboki J, Fujiwara Y, Horlad H, et al.	産婦人科	Onionin A inhibits ovarian cancer progression by suppressing cancer cell proliferation and protumor function of macrophages. 6, 29588, 2016.	Sci Rep.2016 Jul(オンライン)	Original Article
91	Saito T, Katabuchi H.	産婦人科	Annual Report of the Committee on Gynecologic Oncology, Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Patient Annual Report for 2013 and Treatment Annual Report for 2008.	J Obstet Gynaecol Res.2016 Sep;42:1069-1079	Original Article
92	Miyoshi J, Ohba T, Ohkuma M, et al.	産婦人科	Efficacy of a prospective community-based intervention to prevent preterm birth.	J Perinat Med.2017 Jan;45:113-119	Original Article
93	Saito F, Tashiro H, Yamaguchi M, et al.	産婦人科	Development of a mouse model for testing therapeutic agents: the anticancer effect of dienogest on endometrial neoplasms.	Gynecol Endocrinol.2016 May;32:4.3-407	Original Article
94	Mori H, Momosaki K, Kido J, et al.	小児科	Amelioration by glycine of brain damage in neonatal rat brain following hypoxia-ischemia.	Pediatr Int.2017 Mar;59:321-327	Original Article

小計7件

95	Tamura H, Nakazato H, Kuraoka S, et al.	小児科	Reduced INF2 expression in nephrotic syndrome is possibly related to clinical severity of steroid resistance in children.	Nephrology.2016 Jun;21:467-475	Original Article
96	Nakamura K, Kido J, Matsumoto S, et al.	小児科	Clinical manifestations and growth of patients with urea cycle disorders in Japan.	J Hum Genet.2016 Jul;61:613-616	Original Article
97	Kido J, Matsumoto S, Momosaki K, et al.	小児科	Plasma exchange and chelator therapy rescues acute liver failure in Wilson disease without liver transplantation.	Hepato Res.2017 Mar;47:359-363	Original Article
98	Nishioka H, Nakamura E, Hirose J, et al.	整形外科	MRI T1 $\rho$ and T2 mapping for the assessment of articular cartilage changes in patients with medial knee osteoarthritis after hemicallotaxis osteotomy	Bone Joint Research.2016 Jul;5:294-300	Original Article
99	Karasugi T, Ide J, Kitamura T, et al.	整形外科	Neuropathic pain in patients with rotator cuff tears.	BMC musculoskeletal disorders.2016 Nov;17:451-451	Original Article
100	Egashira S, Kajihara i, Kanemaru I, et al.	皮膚科	Achieved good response of S-1 and docetaxel combination chemotherapy in two patients with metastatic extramammary Paget's disease	Journal of Dermatology.2016 Nov (オ ンライン)	Original Article
101	Kitamura F, Inoue T, Kuroda U, et al.	眼科	Angle closure caused by a plateau-like iris associated with an enlarged Soemmering's ring: a case report.	BMC Ophthalmology.2016 May;16:49-52	Original Article
102	Haga A, Takahashi E, Inomata Y, et al.	眼科	Differentiated Expression Patterns and Phagocytic Activities of Type 1 and 2 Microglia.	Investigative Ophthalmology & Visual Sciences.2016 May;57:2814-2823	Original Article

小計8件

103	Futakuchi A, Inoue T, Fujimoto T, et al.	眼科	The effects of ripasudil (K-115), a Rho kinase inhibitor, on activation of human conjunctival fibroblasts.	Experimental Eye Research.2016 Aug;149:107-115	Original Article
104	Sanuki T, Yumoto E, Toya Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Voice tuning with new instruments for type II thyroplasty in the treatment of adductor spasmodic dysphonia.	Auris Nasus Larynx.2016 Oct;43:537-540	Original Article
105	Kumai Y, Hamasaki T, Yumoto E.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Surgical management of Eagle's syndrome: an approach to shooting craniofacial pain.	European archives of otorhino-laryngology .2016 Oct;273:3421-3427	Original Article
106	Kumai Y, Samejima Y, Yumoto E2.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Postdeglutitive residue in vagus nerve paralysis and its association with feeding style.	European archives of otorhino-laryngology .2016 Dec;273:4369-4375	Original Article
107	Kodama N, Kumai Y, Sanuki T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Arytenoid Adduction Combined with Nerve-muscle Pedicle Flap Implantation or Type I Thyroplasty.	Laryngoscope.2017 Jan;127:159-166	Original Article
108	Nakashima H, Matsuoka Y, Yoshida R, et al.	歯科口腔外科	Pre-treatment neutrophil to lymphocyte ratio predicts the chemoradiotherapy outcome and survival in patients with oral squamous cell carcinoma: a retrospective study.	BMC Cancer.2016 Dec;16:41-49	Original Article
109	Tanaka T, Imamura T, Yoneda M, et al.	歯科口腔外科	Enhancement of active MMP release and invasive activity of lymph node metastatic tongue cancer cells by elevated signaling via the TNF- $\alpha$ -TNFR1-NF- $\kappa$ B pathway and a possible involvement of angiotensin-like 4 in lung metastasis.	Int J Oncol.2016 Oct;49:1377-1384	Original Article

小計7件

110	Matsuoka Y, Nakayama H, Yoshida R, et al.	歯科口腔外科	IL-6 controls resistance to radiation by suppressing oxidative stress via the Nrf2- antioxidant pathway in oral squamous cell carcinoma.	Br J Cancer2016 Nov;115:1234-1244	Original Article
111	Kidoh M, Utsunomiya D, Ikeda O, et al.	画像診断・治療科	Reduction of metallic coil artefacts in computed tomography body imaging: effects of a new single-energy metal artefact reduction algorithm	European Journal.2016 May;26:1378-1386	Original Article
112	Utsunomiya D, Tanaka R, Yoshioka K ,et al.	画像診断・治療科	Relationship between diverse patient body size- and image acquisition-related factors, and quantitative and qualitative image quality in coronary computed tomography angiography: a multicenter observational study	Japanese Journal of Radiology.2016 Aug;34:548-555	Original Article
113	Oda S, Yoshimura A, Honda K, et al.	画像診断・治療科	CT Angiography in Patients with Peripheral Arterial Disease: Effect of Small Focal Spot Imaging and Iterative Model Reconstruction on the Image Quality	Academic Radiology.2016 Oct;23:1283-1289	Original Article
114	Taguchi N, Oda S, Utsunomiya D, et al.	画像診断・治療科	Using 80 kVp on a 320-row scanner for hepatic multiphase CT reduces the contrast dose by 50 % in patients at risk for contrast-induced nephropathy	European Radiology.2017 Feb;27:812-820	Original Article
115	Oda a, Utsunomiya D, Nakaura T, et al.	画像診断・治療科	The Influence of Iterative Reconstruction on Coronary Artery Calcium Scoring- Phantom and Clinical Studies	Academic Radiology.2017 Mar;24:295-301	Original Article

小計6件

116	Iyama Y, Nakaura T, Kidoh M, et al.	画像診断・治療科	Submillisievert Radiation Dose Coronary CT Angiography : Clinical Impact of the Knowledge-Based Iterative Model Reconstruction	Academic Radiology.2016 Nov;23:1393-14101	Original Article
117	Kidoh M, Utsunomiya D, Oda S, et al.	画像診断・治療科	Breast dose reduction for chest CT by modifying the scanning parameters based on the pre- scan size-specific dose estimate (SSDE)	European Radiology.2017 Jan;27:2267-2274	Original Article
118	Sakamoto F, Shiraishi S, Tsuda N, et al.	画像診断・治療科	123I-MIBG myocardial scintigraphy for the evaluation of Lewy body disease: are delayed images essential? Is visual assessment useful?	British Journal of Radiology.2016 Jun (オンラ イン)	Original Article
119	Sakamoto F, Shiraishi S, Tsuda N, et al.	画像診断・治療科	Diagnosis of dementia with Lewy bodies: Can 123I-IMP and 123I-MIBG scintigraphy yield new core features?	British Journal of Radiology.2017 Jan (オンラ イン)	Original Article
120	Yuki H, Utsunomiya D, Izumiya Y, et al.	画像診断・治療科	Improvement in Microvascular Ischemia After Enzyme Replacement Therapy in Anderson-Fabry Disease - Computed Tomography Myocardial Perfusion Imaging	Circulation Journal.2017 Jan;81:243-244	Original Article
121	Toya R, Murakami R, Saito T, et al.	放射線治療科	Radiation therapy for nasopharyngeal carcinoma: the predictive value of interim survival assessment.	Journal of Radiation Reseach.2016 Sep;57:541- 547	Original Article

小計6件

122	Fukugawa Y, Namimoto T, Toya R, et al.	放射線治療科	Radiation-induced Liver Injury after 3D- conformal Radiotherapy for Hepatocellular Carcinoma: Quantitative Assessment Using Gd-EOB-DTPA- enhanced MRI	Acta Medica Okayama.2017 Feb;71:25- 29	Original Article
123	Saito T, Toya R, Matsuyama T, et al.	放射線治療科	Prognostic value of parameters derived from white blood cell and differential counts in patients receiving palliative radiotherapy.	Molecular and Clinical Oncology 2016.2016 Sep;5:241-246	Original Article
124	Saito T, Toya R, Semba A, et al.	放射線治療科	Influence of the treatment schedule on the physicians' decisions to refer bone metastases patients for palliative radiotherapy: a questionnaire survey of physicians in various specialties.	Nagoya Journal of Medical Science.2016 Aug;78:275- 284	Original Article
125	Saito T, Toya R, Matsuyama T, et al.	放射線治療科	Dosimetric predictors of treatment-related lymphopenia induced by palliative radiotherapy: predictive ability of dose-volume parameters based on body surface contour.	Radiol Oncol Published online.2016 Oct (オンライ ン)	Original Article
126	Koyama A, Matsushita M, Hashimoto M, et al.	神経精神科	Mental health among younger and older caregivers of dementia patients	Psychogeriatrics.2017 May;17:108-114	Original Article
127	Koyama A, Hashimoto M, Tanaka H, et al.	神経精神科	Malnutrition in Alzheimer's Disease, Dementia with Lewy Bodies, and Frontotemporal Lobar Degeneration: Comparison Using Serum Albumin, Total Protein, and Hemoglobin Level.	PLoS One.2016 Jun (オン ライン)	Original Article

小計6件



128	Sugawara H, Sakamoto K, Harada T, et al.	神経精神科	A retrospective study of predictive factors for effective aripiprazole augmentation of antidepressant therapy in treatment-resistant depression.	Neuropsychiatric Disease and Treatment .2016 May;10:1151-1156	Original Article
129	Ikeda M, Mori E, Iseki E, et al.	神経精神科	Adequacy of using consensus guidelines for diagnosis of dementia with Lewy bodies in clinical trials for drug development.	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders.2016;41:55-67	Original Article
130	Yano S, Hide T, Uekawa K, et al.	脳神経外科	Mixed Pituitary Gangliocytoma and Prolactinoma Resistant to the Cabergoline Treatment	World Neurosurgery.2016 Nov;95:17-22	Original Article
131	Yamada K, Shinojima N, Hamasaki T, et al.	脳神経外科	Subthalamic nucleus stimulation improves Parkinson's disease-associated camptocormia in parallel to its preoperative levodopa responsiveness	Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry .2016 Jul;87:703-709	Original Article
132	Kawano T, Ohmori Y, Kaku Y, et al.	脳神経外科	Prolonged Mean Transit Time Detected by Dynamic Susceptibility Contrast Magnetic Resonance Imaging Predicts Cerebrovascular Reserve Impairment in Patients with Moyamoya Disease	Cerebrovascular Diseases.2016 Apr;42:131-138	Original Article
133	Hamasaki T, Yamada K, Kitajima M, et al.	脳神経外科	Flatness of the infratentorial space associated with hemifacial spasm	Acta Neurochirurgica .2016 Jul;158:1405-1412	Original Article

小計6件

134	Kuroda J, Nobusawa S, Nakamura H, et al.	脳神経外科	A case of an epithelioid glioblastoma with the BRAF V600E mutation colocalized with BRAF intact low-grade diffuse astrocytoma	Neuropathology.2016 Apr;36:181-186	Original Article
135	Amadatsu T, Morinaga J, Kawano T, et al.	脳神経外科	Macrophage-Derived Angiopoietin-Like Protein 2 Exacerbates Brain Damage by Accelerating Acute Inflammation after Ischemia-Reperfusion	PLoS ONE.2016 Nov(オンライン)	Original Article
136	Fujimoto K, Miura M, Otsuka T, et al.	脳神経外科	Sequential changes in Rotterdam CT scores related to outcomes for patients with traumatic brain injury who undergo decompressive craniectomy	Journal of Neurosurgery.2016 Jun;124:1640-1645	Original Article
137	Takemoto Y, Matsumoto J, Ohta K, et al.	脳神経外科	Chronic subdural hematoma with persistent hiccups: A case report	Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management.2016 May;3:1-2	Original Article
138	Takemoto Y, Hasegawa S, Nagamine M, et al.	脳神経外科	A spontaneous superficial temporal artery pseudoaneurysm possibly related to atherosclerosis: Case report and review of literature	Surgical Neurology International.2016 Apr;7:S247-S250	Original Article
139	Takemoto Y, Matsumoto J, Ohta K, et al.	脳神経外科	Bilateral posterior fossa chronic subdural hematoma treated with craniectomy: Case report and review of the literature	Surgical Neurology International.2016 May;7:S255-S258	Original Article

小計6件

140	Fukunaga C, Sugita M, Yamamoto T.	麻酔科	Validity of ultrasonographic measurement of gastric volume in fasted pediatric patients without sedation	Journal of Anesthesia.2016 Oct;30:900-903	Original Article
141	Shimohigashi Y, Toya R, Saito T, et al.	中央放射線部	Tumor motion changes in stereotactic body radiotherapy for liver tumors: an evaluation based on four-dimensional cone-beam computed tomography and fiducial markers.	Radiation Oncology.2017 Mar(オンライン)	Original Article
142	Shimohigashi Y, Araki F, Maruyama M, et al.	中央放射線部	Evaluation of target localization accuracy for image-guided radiation therapy by 3D and 4D cone-beam CT in the presence of respiratory motion: a phantom study.	Biomedical Physics & Engineering Express.2016 Apr(オンライン)	Original Article
143	Nakaguchi Y, Ono T, Onitsuka R, et al.	中央放射線部	Comparison of 3-dimensional dose reconstruction system between fluence-based system and dose measurement-guided system.	Medical Dosimetry.2016;41:205-211	Original Article
144	Sagishima K, Kinoshita Y.	集中治療部	Pupil diameter for confirmation of brain death in adult organ donors in Japan.	Acute Medicine & Surgery.2017 Jan;4:19-24	Original Article

小計5件  
計144件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、et al.、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yamashita T, Ando Y	神経内科	全身性アミロイドーシ スに伴う手根管症候 群の病態	末梢神経.2016年12 月;26:172-177	Original Article
2	Yamada T, Mori T, NishiW, et al.	呼吸器外科	肺癌術後に発生した 慢性進行性肺アスペ ルギルス症	胸部外科.2016年9 月;69:847-851	Original Article
3	Yamashita Y	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄 附講座)	胃癌肝転移の外科治 療	外科.2016年;78:363-367	Original Article
4	Imai K, Nishimura Y, Hashimoto D, et al.	消化器外科	膵癌組織に発現する 腫瘍関連抗原の臨床 応用: 免疫療法への 応用をめざして	胆と膵.2016年;37:831- 836	Original Article
5	Miyamoto Y, Oki E, Saeki K, et al.	消化器外科	切除不能大腸癌治療 における化学療法 の進歩	癌と化学療法.2016 年;43:15-23	Original Article
6	Inomata Y, Umeshita K, Uemoto S	小児外科・移植外科	肝移植症例登録報告	移植.2016年8月;51:145- 159	Original Article
7	Anami T, Sameshima T, Murakami Y, et al.	泌尿器科	術前に診断が困難で あった尿道憩室腺癌 の1例	西日本泌尿器科.2016年 10月;78:510-513	Original Article
8	Ogata K, Oka K, Sato H, et al.	整形外科	左第3中足骨に発生 した類骨骨腫の1例	整形外科と災害外科.2016 年5月;65:66-70	Original Article
9	Uragami M, Fujimoto T, Okada T, et al.	整形外科	高度腰椎変性側弯症 に対する後方矯正固 定術の検討	整形外科と災害外科.2016 年5月;65:136-139	Original Article
10	Yoshimo T, Okamoto N, Nakamura E, et al.	整形外科	Pasteurella multocida による人工膝関節置 換術後感染の一例	整形外科と災害外科.2016 年5月;65:203-205	Original Article
11	Chijo M, Watanabe H, Sagara T, et al.	整形外科	高齢者人工股関節全 置換術におけるカッ プ側の評価	整形外科と災害外科.2016 年12月;65:474-476	Original Article
12	Katayama N, Okamoto N, Nakamura E, et al.	整形外科	腫骨に初発した結核 性骨髄炎の1例	整形外科と災害外科.2016 年12月;65:489-492	Original Article
13	Sakamoto K, Fujimoto T, Taniwaki T, et al.	整形外科	強直性脊椎炎に生じ た頸椎椎体骨折の一 例	整形外科と災害外科.2016 年12月;65:783-785	Original Article

小計13件

14	Yonemitsu R, Tsuchida T, Yokota S, et al.	整形外科	右大腿骨頸部疲労骨 折の1例	整形外科と災害外科.2016 年12月;65:841-844	Original Article
15	Kitajima M.	画像診断・治療科	視神経・視路疾患の conventional MRIと advanced MRI	眼科 2016 臨時増刊号: 眼科検査の最新情 報.2016年10月;58:1389- 1398	Original Article
16	Yano S, Hide T, Shinojima N, et al.	脳神経外科	巨大下垂体腺腫に対 する経鼻内視鏡手術 の有用性と合併症対 策	日本内分泌学会雑 誌.2016年;92:60-62	Original Article
17	Nakamura H.	脳神経外科	脳腫瘍Update (8) primary central nervous system lymphoma(中枢神経 系原発悪性リンパ腫)	脳神経外科.2016 年;44:605-611	Original Article
18	Nakamura H.	脳神経外科	転移・再発巣の検査・ 診断: 概論	日本臨床.2016年;74:451- 454	Original Article
19	Makino K.	脳神経外科	頭蓋内原発悪性リン パ腫	日本臨床.2016年;74:432- 434	Original Article
20	Shinojima N.	脳神経外科	転移性腫瘍の遺伝的 背景	日本臨床.2016年;74:473- 476	Original Article
21	Ikeda K, Yamauchi T, Nishimura H, et al.	中央検査部	実践精度管理	日本臨床検査自動化学会 会誌.2017年2月;42:123- 134	Original Article
22	Yonemura Y, Matsumoto M, Inada E, et al.	輸血・細胞治療部	科学的根拠に基づい た赤血球製剤の使用 ガイドライン	日本輸血細胞治療学会 誌.2016年12月;62:641- 650	Original Article
23	Doi Y, Matsuyama M, Ikeda R, et al.	中央放射線部	医用液晶ディスプレイ の最大輝度が認識時 間に及ぼす影響ーラ ンドルト環を使った視 覚評価ー	日本放射線技術学会雑 誌.2016年7月(オンライン)	Original Article
24	Kaneko T, Ikematsu E, Ikeda M, et al.	救急・総合診療部	口頭指導による心肺 停止予後改善効果の 検討 ー熊本市消防局心肺 停止活動記録の検討 よりー	日臨救急医学誌 (JJSEM).2016年12 月;19:716-719	Original Article
25	Tanaka H, Kaneko T, Karashima R, et al.	救急・総合診療部	病院前ブドウ糖投与 プロトコルの適応と ならなかった低血糖 の2例	日臨救急医学誌 (JJSEM).2016年12 月;16:741-744	Original Article
26	Kaneko T, Yamada S, Kitada M, et al.	救急・総合診療部	左内頸静脈から左肺 部異常血管へ中心静 脈カテーテルが挿入 された1例	ICUとCCU.2017年3 月;41:203-204	Original Article

小計13件  
計26件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ○研究者、研究責任者、研究部長及び病院長の責務 ○人を対象とした医学系研究倫理審査申請の受付から審査までの業務手順 ○研究開始から終了に係る業務手順 ○研究の倫理、研究実施に必要な知識および技術に関する教育・研修	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ○熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の設置 ○臨床研究にかかる利益相反申告書の提出 ○委員会による審査結果、指導・勧告、異議申し立て、情報開示	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 5 0 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容 ○人を対象とする医学系研究における被験者保護・信頼性確保について ○医学研究の際の診療情報（電子化および過去情報）の取扱い ○産学連携活動に伴う利益相反	

- 研究不正に巻き込まれないための研究者としての心得
- 個人情報保護法改正について

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科にて実施される専門修練プログラムの主な内容は、以下のとおり。	
・各種カンファレンス	・英語論文抄読会
・症例検討会	・症例プレゼンテーション
・各種研究発表会、講演会等への参加	・内視鏡縫合結紮トレーニング
・エコー下経皮的腎生検トレーニング	・内シャント作成トレーニング
・心臓カテーテル検査	

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	325人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
興梠 博次	呼吸器内科	教授	40年	
佐々木 裕	消化器内科	教授	38年	
松岡 雅雄	血液内科	教授	35年	
松岡 雅雄	膠原病内科	教授	35年	
向山 政志	腎臓内科	教授	31年	
荒木 栄一	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	27年	
掃本 誠治	循環器内科	准教授	29年	
安東 由喜雄	神経内科	教授	34年	
福井 寿啓	心臓血管外科	教授	23年	
鈴木 実	呼吸器外科	教授	28年	
馬場 秀夫	消化器外科	教授	34年	
岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌内科	教授	37年	
猪股 裕紀洋	小児外科	教授	40年	
猪股 裕紀洋	移植外科	教授	40年	
中村 公俊	小児科	准教授	37年	
河野 吉成	泌尿器科	講師	14年	
片淵 秀隆	産科・婦人科	教授	36年	
水田 博志	整形外科	教授	39年	
水田 博志	リハビリテーション科 (リハビリテーション部)	教授	39年	
尹 浩信	皮膚科	教授	28年	
尹 浩信	形成・再建科	教授	28年	
谷原 秀信	眼科	教授	32年	
蓑田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	27年	
山下 康行	画像診断・治療科	教授	36年	
大屋 夏生	放射線治療科	教授	30年	
橋本 衛	神経精神科	助教	26年	
矢野 茂敏	脳神経外科	准教授	29年	



山本 達郎	麻酔科	教授	35年
笠岡 俊志	総合診療科(救急・総合診療部)	教授	31年
笠岡 俊志	救急外来	教授	31年
三上 芳喜	病理診断科(病理部)	教授	27年
中山 秀樹	歯科口腔外科	教授	21年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>【薬剤部】 薬剤部では、職員研修を目的として、定期的に①「薬剤管理指導検討会」及び②「新薬説明会」、また、不定期に③「くすりの勉強会」を開催している。</p> <p>【看護部】 看護部では、教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を策定し、実施している。</p> <p>【中央検査部】 特定機能病院として、高度な臨床検査体制を構築するため、別紙の研修をスタッフ全員に対して行っており、臨床検査の精度保証の向上に努めている。</p> <p>【ME 機器センター】 人工呼吸器に関する研修を実施することは、医療事故防止の面で有効と考え毎年実施している。特に昨年度は看護師だけでなく、呼吸リハの関係で理学療法士や作業療法士も参加した。</p> <p>【中央放射線部】 特定機能病院としての高度な救急医療に対応できるよう、救急放射線検査に関する研修を実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>【薬剤部】 別紙（1）のとおり</p> <p>【看護部】 別紙（2）のとおり</p> <p>【中央検査部】 別紙（3）のとおり</p> <p>【ME 機器センター】 別紙（4）のとおり</p> <p>【中央放射線部】 別紙（5）のとおり</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>「個人情報保護」、「院内感染対策」、「医療安全管理」の本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず習得しておくべき基本的かつ重要な事項について周知徹底させる。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>平成28年4月1日(金)外 ※採用者があり次第、随時実施</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>506名(内訳：4月1日採用者327名、中途採用者179名)</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p>

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 水田 博志
管理担当者氏名	各診療科長、中央診療施設等の長、医療情報経営企画部長、薬剤部長、看護部長、医療技術部長、栄養管理部長、医療安全管理部長、各課長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	中央手術部
		看護記録	看護部
		検査所見記録	中央検査部
		エックス線写真	中央放射線部
		紹介状	各診療科
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課

診療に関する諸記録は、平成22年9月20日以前は紙媒体を原本とし、患者ID番号をもとに患者毎に整備し、10年間保管・管理している。平成22年9月20日以降は、電子情報を原則とし、電子保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課
		職員研修の実施状況	総務課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 深澤 博昭	
閲覧担当者氏名	総務課長 澤田 敬	
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 3階 応接室	
閲覧の手続の概要		
病院事務部（総務課総務担当）へ閲覧の要求を行う。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	④・無
<p>・ 指針の主な内容： 熊本大学医学部附属病院は、適切な安全安心で質の高い医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ( ④・無 ) ・ 開催状況：年 1 4 回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。 (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。 (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。 (4) 本院において重大な問題その他医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。 (5) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること。 (6) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 (7) 医療事故発生時の患者や家族への説明及び公表に関すること。 (8) その他医療に係る安全管理に関し必要な事項</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容： 新規採用者、中途採用者のオリエンテーションとは別に、全職員を対象に実施しており、医療の質・安全管理部からの重要な通達事項(例：特定機能病院の承認要件の改正点)や、インシデントに関連したテーマの講演会(例：血管外漏出等)を実施している。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( ④・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデントが発生した場合、各部署からインシデントレポートにより医療の質・安全管理部へ報告がある。なお、重大なインシデントについては部署リスクマネージャーから即時にゼネラルリスクマネージャーへ連絡があり、ICに同席するなど初期対応から医療の質・安全管理部が介入し対応している。 インシデントレポートを基に要因分析と再発防止策の検討を医療の質・安全管理部と医療安全管理委員会 で実施している。検討した再発防止策は、リスクマネージャー連絡会議において警鐘事例とともに各部署の リスクマネージャーに通達し、その後リスクマネージャーから全職員に周知される。 また、部署リスクマネージャーによる自部署チェック、他部署間の相互チェックや、医療の質・安全管理部 運営委員会委員による院内巡視、医療安全管理者によるラウンドなど、定期的な巡回や監査も実施してい る。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。



(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li><li>3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 抗微生物薬適正使用に関する基本方針</li><li>6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>8. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染防止対策に関する事項の審議</li><li>2. 院内感染防止対策研修会の企画・審議</li><li>3. 感染予防に関する事業の企画・実施</li><li>4. MRSA等の薬剤耐性菌の分離状況についての報告</li><li>5. 抗MRSA薬適正使用報告</li><li>6. 感染制御チーム（ICT）からの報告</li></ol></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. (医療系)『当院の感染対策の現状～ICTはここを見ている～』<ul style="list-style-type: none"><li>・ 耐性菌ラウンド、手指衛生ラウンド、環境ラウンドについて</li></ul>(事務系)『病院で仕事をする上で気をつけること～針刺し防止・流行性角結膜炎～』<ul style="list-style-type: none"><li>・ 針刺し防止対策、針刺し発生時の対応について</li><li>・ 流行性角結膜炎（EKC）の予防、対策について</li></ul></li><li>2. (医療系)『微生物検査の理解を深めよう』<ul style="list-style-type: none"><li>・ 細菌検査結果の正しい見方について</li><li>・ POT法による分子疫学解析について</li></ul>(事務系)『病院で仕事をする上で気をつけること～インフルエンザ～』<ul style="list-style-type: none"><li>・ インフルエンザの予防、発症時の対応について</li><li>・ その他、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎発症時の対応について</li></ul></li></ol></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>各職種からなるICTを組織し、病院感染対策マニュアルの改定、院内感染発生時の対応、院内ラウンド、抗菌薬適正使用の推進、病院感染防止の教育・啓発、職業感染防止対策などの活動を行っている。</li></ul></li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】</p> <p>(1) 平成28年4月4日：「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」、141名（講師；副薬剤部長、対象；新採用職員）</p> <p>(2) 平成28年6月9日：「看護師に必要な薬理作用の基礎知識」、75名（講師；薬剤部長、対象；新採用看護師）</p> <p>(3) 平成29年1月5日・11日・16日（同じ内容で3回実施）：「平成28年度後期院内感染対策研修会及び医療安全のための講演会（医療系）；血管外漏出に注意すべき薬剤および予防・対処について」、1,155名、（講師；薬剤師GRM、対象；全職員）</p> <p>【病棟別等の対象限定での研修】</p> <p>(1) 平成28年6月28日：「ブラケニル錠について」、15名（講師；薬剤師、対象；西病棟10階看護師）</p> <p>(2) 平成28年6月28日：「循環作動薬等の作用機序、注意点」、5名（講師；薬剤師、対象；東病棟9階HCU看護師）</p> <p>(3) 平成28年8月2日：「PK/PDの有効活用と抗微生物薬適正使用の実践」、73名（講師；薬剤師、対象；熊大病院臨床カンファレンス参加者）</p> <p>(4) 平成28年8月29日：「血管外漏出」、11名（講師；薬剤師、対象；東病棟10階看護師）</p> <p>(5) 平成28年9月20日：「東病棟7階で使用する麻薬・補液・化学療法などの薬剤について」、13名（講師；薬剤師、対象；東病棟7階看護師）</p> <p>(6) 平成28年10月19日：「西病棟9階で使用する薬剤の注意点・血管外漏出時の対応など」、10名（講師；薬剤師、対象；西病棟9階看護師）</p> <p>(7) 平成28年10月19日：「西病棟7階薬剤関連勉強会」、11名（講師；薬剤師、対象；西病棟7階看護師）</p> <p>(8) 平成29年1月25日：「平成28年度第12期 リンクナース育成研修コース」、15名（講師；薬剤師、対象；感染リンクナース）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命(平成19年4月)し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。『医薬品の安全使用のための業務手順書』(以下、業務手順書)は平成19年7月に作成した。</p> <p>平成28年9月には、医薬品安全管理専門委員会を開催し、業務手順書を改訂した(第11版)。今回の改訂内容については、(1)所定の保管庫に保管する医薬品に向精神薬を追加、(2)調剤室管理の毒薬について常時施錠保管の徹底化、(3)調剤室内の全医薬品についての使用期限の管理強化、(4)『中央手術部における筋弛緩薬の取り扱い手順書』の改訂(第3版へ)、(5)『入院患者に対する速報性医療用麻薬製剤の自己管理マニュアル』の版改訂(第2版へ)、(6)処方時の注意事項について追記、文言の変更、(7)『熊本大学医学部附属病院医薬品集』の改訂(2016年版へ)、(8)処方に対する疑義照会内容の情報共有について追記、(9)薬学的指導を行う対象に医療用麻薬が処方された患者を追加、(10)患者持参薬の取扱いについて追記、(11)麻薬投与後の残薬の処理について一部変更、(12)外来患者へ服薬指導を実施した場合の記録について記載、(13)医療法施行規則の一部改正に伴う業務を記載；「医薬品の安</p>	

全使用を確保するための管理体制」を追加、(14)『試験研究室業務マニュアル』の版改訂(第8版へ)、(15)倫理委員会の名称変更、(16)手順書中の章番号変更等である。また、院内採用医薬品の追加および削除に対応して、本院におけるハイリスク薬リストを改訂した。

病棟・外来診療棟等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。業務手順書に基づく業務の実施についてはチェックリストにより年1回確認している。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:

医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容、外来化学療法室における疑義照会事例および病棟薬剤業務に関連した疑義照会事例等について、情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況等を報告している。院内で発生した薬剤業務関連のインシデント事例について薬剤師への情報共有・周知を図り、再発防止のための注意喚起に努めている。院内各端末からは、病院情報管理システムを用いて、最新(毎月1回更新)の添付文書情報を閲覧可能としており、また、新規採用医薬品については、毎月発行の院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて概要と注意事項等の情報を発信する共に、病院情報システム内の院内専用電子掲示板「医薬品情報」にも掲示している。

調剤(注射剤調剤を含む)に際しては、質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用の目的に活用している。がん化学療法においては、処方ミスを回避し安全性を確保するため、注射用抗がん剤に対する処方では専用のレジメンオーダリングシステムのみでの運用に限定している。注射用抗がん剤の無菌調製は、休日も含め全て薬剤部で担当している。また、治療域の狭い薬物や個体差の大きい薬物等については、薬物血中濃度モニタリング(TDM)による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬については、毎月度開催される感染対策委員会においてTDM実施状況を報告し、TDMに基づいた適正投与を行うように医師に対し周知徹底を図っている。

未承認医薬品については、院内では「本院で使用したことのない医薬品であって、“医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律”における承認又は認証を受けていないもの」と定義した上で、薬剤部で調剤(分包依頼、剤形変更などの特殊製剤依頼等も含む)する際には、未承認医薬品の使用が倫理委員会(人を対象とする医学系研究臨床研究部門倫理委員会、臨床倫理委員会)の承認を得ていることを書面にて確認している。医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師(担当薬剤師)は未承認医薬品の使用状況及び規程遵守状況等を月1回定期的に確認し、医薬品安全管理責任者へ報告している。

更に、平成29年1月の病院情報システムの更新に際して、医薬品使用の安全対策を強化する観点から、システム上に各機能を追加した。具体的には、(1)処方オーダ入力のリターンキーの切り替え、(2)警告メッセージ突破時の理由コメント入力の義務化、(3)散剤の単位表記に「(成分量)」または「(製剤量)」の併記追加、(4)禁止食品に関する処方・注射オーダと食事オーダ間での連動機能追加、(5)ハイリスク薬の識別表示化、(6)処方・注射オーダ時の検体検査オーダの起動機能追加、(7)院外処方箋への医師・薬局コメント欄の新設および処方内容の2次元バーコードの印字、(8)注射オーダでの投与期間チェック導入、(9)注射オーダに溶解剤・希釈液の入力補助機能追加、(10)処方箋発行時に処方鑑査サポートシート(患者基本情報、血液検査結果、疑義照会、突破ログ等印字)発行の導入、(11)抗がん剤の累積投与量チェック機能追加、(12)医薬品情報専用掲示板の開設等である。

また、“イソゾール注射用”や“ボトックス注用”等、特に注意を要する注射剤については支給時に注意喚起文書を添付するようにした。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年19回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成28年 4月 輸液ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方・・・・・・・・・・研修医49名          4月 閉鎖式保育器の基礎と使用方法・・・・・・・・・・看護師14名、医療技術職員12名          5月 除細動器の基礎と日常点検・・・・・・・・・・看護師14名、医療技術職員9名、一般職員2名          6月 補助循環装置（IABP、PCPS）・・・・・・・・・・医師1名、看護師6名、医療技術職員13名、一般職員1名          7月 人工呼吸器の基礎・・・・・・・・・・看護師23名、医療技術職員20名          8月 放射線治療器RALSの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員9名          8月 人工心肺装置・・・・・・・・・・看護師6名、医療技術職員12名、一般職員1名          9月 放射線治療器リニアックの安全な使用法・・・・・・・・・・医療技術職員9名          9月 ベースメーカー・・・・・・・・・・看護師20名、医療技術職員10名、一般職員1名          9月 血液浄化装置・・・・・・・・・・医師2名、看護師10名、医療技術職員12名、一般職員1名          10月 放射線治療機器リニアックの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員7名          10月 閉鎖式保育器・・・・・・・・・・看護師4名、医療技術職員6名、一般職員2名          11月 除細動器・・・・・・・・・・看護師24名、医療技術職員13名、一般職員1名          12月 放射線治療機器RALSの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名          12月 補助循環装置（IABP・PCPS）・・・・・・・・・・医師2名、看護師6名、医療技術職員14名、一般職員3名          平成29年 1月 人工呼吸器・・・・・・・・・・看護師8名、医療技術職員13名          2月 人工心肺装置・・・・・・・・・・医師1名、看護師23名、医療技術職員21名、一般職員4名          2月 放射線治療器RALSの安全な使用方法・・・・・・・・・・医療技術職員8名          3月 ベースメーカー・・・・・・・・・・看護師6名、医療技術職員15名、一般職員2名</p> <p>★ 医療機器導入時研修 46回 医師62名 看護師163名 医療技術職員131名</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器保守・点検業務手順書に則り、人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、直線加速器、RALS、輸液ポンプ、シリンジポンプ、小型シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、空気除菌・脱臭装置、AED、麻酔器は保守点検に関する計画を策定し、ME機器センター技士ならびに製造販売業者が保守点検を実施している。保守点検後は、その状況を月報として医療機器安全管理責任者に報告し、最終的には病院長が委員長となっている医療安全管理委員会に提出されている。</p> <p>上記の医療機器は、始業点検・終業点検、使用中点検についても医療機器保守・点検業務手順書に則り実施している。なお、医療機器不具合時の対応法について院内ネットワークで閲覧できる状態であり、不具合機器は、医療機器修理依頼書とともにME機器センターに持参してもらっている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全情報で医療機器の不具合に関する事例が報告された際、聞きなれない言葉が出た際には、詳細を記したME機器センターニュースを発行し、各病棟に配布している。また、他施設で起こった医療事故に関しては医療機器の安全使用のための研修会の中でも説明することもある。なお、研修会に参加できなかった医療職員のために当日配布した資料を閲覧板として渡し、後日、回収している。</p> <p>医療機器の添付文書はME機器センターで管理するとともに、院内ネットワーク上で何時でも閲覧できる。当センター職員は、院外の講演会、技術講習会に参加して技術の習得に努めている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無						
<p>・責任者の資格 (医師・<u>歯科医師</u>) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>管理者を議長として毎週開催される「医療安全対策に関するカンファレンス」及び毎月開催される「医療安全管理委員会」のメンバーとして医療安全管理責任者をはじめ、医療安全管理部門の医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が出席しており、各所掌事項の報告や検討事項について情報を共有している。特に組織横断的に病院全体での検討が必要な事項等においては、医療安全管理責任者と相談した上で、医療安全管理委員会に諮り審議している。</p>							
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (12名) ・無						
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>○医薬品の安全使用のために必要となる医薬品の使用状況の確認及び関連情報の整理 医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師 (担当薬剤師) は、病院情報システムから得られたデータ、薬剤部疑義照会システムに記録されたデータ並びに薬剤部病棟業務カンファレンスで報告された事例等を基に、院内における医薬品の使用状況を月 1 回定期的に確認している。その結果を踏まえて、医薬品安全管理責任者は、重要な添付文書情報、緊急安全性情報、安全性速報、適応外使用・禁忌医薬品使用・未承認医薬品使用 (「適応外使用」、「禁忌医薬品使用」及び「未承認医薬品等」の医薬品安全管理に係る情報) を確認・整理している。</p> <p>○医薬品の適正使用に係る情報の院内周知及び周知状況の確認 医薬品安全管理責任者は、担当薬剤師より報告された情報を医療安全管理委員会へ報告し、本委員会の判断の下に、必要に応じて医療安全管理部より院内全体に対し医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知している。“リスクマネージャー連絡会議の通達内容” および日本医療機能評価機構から発信される“医療事故情報収集等事業・医療安全情報”については、院内各部署に書面で配付し、署名にて周知状況を確認している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>○適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報収集と確認 担当薬剤師による適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報を月 1 回定期的に収集した内容について、医薬品安全管理責任者が確認している。</p> <p>○未承認医薬品の使用状況の確認 担当薬剤師による未承認医薬品の使用状況等を月 1 回定期的に確認した内容について、医薬品安全管理責任者が確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無) 以下の 8 名。医療安全支援室長 (薬剤師 G R M) は専従、他の 7 名については、医療安全関係業務は兼任。)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table data-bbox="175 1809 1388 1960"><tr><td>(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長 )</td><td>(所属：薬剤部，職種 医療安全支援室長)</td></tr><tr><td>(所属：薬剤部，職種 調剤室長 )</td><td>(所属：薬剤部，職種 麻薬室長 )</td></tr><tr><td>(所属：薬剤部，職種 注射剤調剤室長 )</td><td>(所属：薬剤部，職種 製剤室長 )</td></tr></table>		(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長 )	(所属：薬剤部，職種 医療安全支援室長)	(所属：薬剤部，職種 調剤室長 )	(所属：薬剤部，職種 麻薬室長 )	(所属：薬剤部，職種 注射剤調剤室長 )	(所属：薬剤部，職種 製剤室長 )
(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長 )	(所属：薬剤部，職種 医療安全支援室長)						
(所属：薬剤部，職種 調剤室長 )	(所属：薬剤部，職種 麻薬室長 )						
(所属：薬剤部，職種 注射剤調剤室長 )	(所属：薬剤部，職種 製剤室長 )						

(所属：薬剤部，職種 病棟薬剤業務支援室長)

(所属：薬剤部，職種 医薬品情報室長)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

①・無

・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (①・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

監査担当医師と診療情報管理士が毎月実施する診療録の監査の中で、患者説明の記録や説明・同意書についても監査を行い確認し、結果を運営審議会において報告している。また、同結果をリスクマネージャー連絡会議においても報告し、部署リスクマネージャー等を通じて規程の遵守について指導を行っている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

①・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

・毎月実施する診療録の監査実施と集計結果報告

実施者：監査担当医師 225 名、診療情報管理士 7 名

対象：外来診療録及び入院診療録（入院診療計画書や退院時要約を含む）

監査症例数：外来診療録 300 例／毎月、入院診療録 550～700 例／毎月

・監査結果を院内諸会議にて報告、診療科（監査担当医師）へ報告

監査結果の不備について、主治医宛に症例別報告書にて通知、または医師へ直接連絡

・毎日実施している「入院診療計画書」及び「退院時要約」の作成状況の確認

・入職時のオリエンテーションにて、診療録等記載マニュアルをもとに講義

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

①・無

・所属職員：専従（5）名、専任（1）名、兼任（17）名

うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（9）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（3）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

(1) 医療の安全性の確保及び向上に係る方策の立案、推進及び検証に関すること。

(2) 医療安全管理に係る教育・研修の実施に関すること。

(3) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び従業者の医療安全に対する意識向上の状況確認に関すること。

(4) 事故その他医療の質・安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他診療に関する記録の確認、当該事象に関わる患者又はその家族への説明、当該事象発生の原因究明その他の対応状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導に関すること。

(5) 高難度新規医療技術の提供の適否等に関すること。

- (6) 未承認新規医薬品等の提供の適否等に関すること。
- (7) 医療安全管理に係る連絡調整業務に関すること。
- (8) 医療安全管理マニュアルに関すること。
- (9) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
- (10) 職員のメンタルヘルス支援に関すること。
- (11) 医療事故及び医療紛争の当事者及びその家族の心理的支援に関すること。
- (12) 医療の質・安全管理部長が必要と判断する患者及びその家族への心理的支援に関すること(前号に規定する業務を除く。)
- (13) その他医療の質及び医療安全管理に関し必要な事項

・医療安全に資する診療内容についてのモニタリングの具体例:

中心静脈カテーテルの適正な施行状況や病理部における適切な検体の運用についてモニタリングしている。また、肺血栓予防について、全入院患者へのスクリーニングも含め導入を検討している。

・従事者の医療安全の認識についてのモニタリングの具体例:

「医療安全のための講演会」の受講状況について随時把握し、未受講者についてはeラーニングを受講するよう指導している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

#### ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (  有 ・ 無 )

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  有 ・ 無 )

・活動の主な内容:

(1) 診療科等の長から申請を受理した場合において、当該申請の内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否等について意見を求めること。

(2) 前号の意見の求めに応じ、高難度新規医療技術評価委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対し、その結果を高難度新規医療技術提供審査結果通知書により通知すること。

(3) 高難度新規医療技術の適正な手続に基づく提供に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認すること。

(4) 高難度新規医療技術の適正な手続に基づく提供について、従業者の遵守状況の確認を行うこと。

(5) 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定したとき、及び前号の従業者の遵守状況の確認をしたときに、その内容について病院長に報告すること。

(6) 高難度新規医療技術評価委員会に係る事務を行うこと。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有 ・ 無 )

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (  有 ・ 無 )

#### ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (  有 ・ 無 )

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療

技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  ・ 無 )

・活動の主な内容：

- (1) 診療科等の長から申請を受理した場合において、当該申請の内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、未承認新規医薬品等の使用の適否等について意見を求めること。
- (2) 前号の意見の求めに応じ、未承認新規医薬品等評価委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、申請を行った診療科等の長に対し、その結果を未承認新規医薬品等使用審査結果通知書により通知すること。
- (3) 未承認新規医薬品等の適正な手続に基づく使用に関し、定期的に、及び使用後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認すること。
- (4) 未承認新規医薬品等の適正な手続きに基づく使用について、従業員の遵守状況の確認を行うこと。
- (5) 未承認新規医薬品等の適否等について決定したとき、及び前号の従業員の遵守状況を確認したときに、その内容について病院長に報告すること。
- (6) 未承認新規医薬品等評価委員会に係る事務を行うこと。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  ・ 無 )

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  ・ 無 )

⑨ 監査委員会の設置状況

・ 無

・監査委員会の開催状況：年2回

・活動の主な内容：

医学部附属病院の医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に応じ確認を実施するとともに、必要に応じ医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べる。

監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 有 ・  無 )

・委員名簿の公表の有無 (  ・ 無 )

・委員の選定理由の公表の有無 (  ・ 無 )

・公表の方法：

大学ホームページによる公表

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学医療安全管理部 安全管理部門	○	医療安全に関する見識を有する者	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
藤木 美才	ふじき法律事務所		法律に関する見識を有する者	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	1



石崎 哲彦	熊本大学肝移植患者会 いちよりの会 With		医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年142件(平成28年10月～平成29年3月)
  - ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年118件(平成28年10月～平成29年3月)
  - ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
- (1)報告の実施状況(発生内容や頻度、その後の患者の転帰等)の確認と、確認結果の管理者への報告。
- (2)報告等の実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための従業者への研修及び指導。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有(病院名： ) 無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有(病院名： ) 無
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- 患者様やご家族からの医療の安全管理に係る相談等に対応する窓口として「患者相談室」を設置しており、直接の相談や電話による相談に対して適切に応じる体制を整えている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
- 新規採用者、中途採用者のオリエンテーションとは別に、医療に係る安全管理のための職員研修を全職員を対象に年2回実施しており、医療安全管理部からの重要な通達事項(例:特定機能病院の承認要件の改正点)や、インシデントに関連したテーマの講演会(例:血管外漏出等)を実施している。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

経過措置の適用により詳細は計画書を参照

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による認証期間中の「期中の確認」（中間評価） H28.6	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 熊大病院ホームページ、熊大病院ニュース（年2～3回発行）、熊大病院概要（毎年度発行）等を活用し、本院の役割に関する情報を発信している。 また、熊本県内外の医療機関と交流を図るため、熊本大学医学部附属病院連携病院長懇談会を設置しているが、当会において、各医療機関と意見交換を密にすることにより、種々の情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 当該科からのコンサルテーションシートに基づき、他科の診療科が必要に応じて診療・治療・検査等を連携して行う。	

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【薬剤部】				
研修名	期間	実施回数	参加人員	備考
①薬剤管理指導検討会	毎月1回1時間程度	11回	平均 35.1名	
②新薬説明会	毎月1回1時間程度	11回	平均 30.4名	
③くすりの勉強会	必要に応じ開催(1~2時間)	25回	平均 22.8名	

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

## 平成28年度院内教育一覧

研修名	対象	目標	内容	方法	日時	講師	場所	研修生人数	時間数	
基礎研修	新規採用者 オリエンテー ション	平成28年度新 規採用者・平 成27年度中途 採用者 約100人	病院の組織を知り看 護部の一員として組織 に慣れ、メンバーシ ップが発揮できる。	病院・看護部の組織と 機能を学び、看護師とし ての心構えを習得でき る。	講義	4/1・4・5 (金・月・火) 8:30～17:15 4/6(水) 8:00～16:45 4/7(木) 10:15～ 19:00	病院長、看護部長、 事務部長、 各診療・医療技術部 門長、 事務職員	医学総合研究棟 3階講習室・図書 棟3階第一講義 室・ 東病棟12階多目 的ホール	77人	38:45
	感染対策基礎 研修	平成28年度新 規採用看護師 (任期付きは 除く) 約70人	感染対策の基本を理 解し、感染予防のため の手指衛生と個人防 護具の着脱の実践が できる	1)院内感染対策の基本 2)標準予防策と感染経 路別予防策 3)針刺し・血液体液曝 露防止対策 4)医療廃棄物の分別方 法・取り扱い方法 5)演習(個人防護具の 着脱方法・手指消毒)	講義 演習	4/6(水) 9:05～12:15	藤本陽子 吉田真由美 感染管理認定看護師 感染リンクナース	東病棟12階多目 的ホール	73人	3:10
	新人看護師の ための メンタルヘルス	平成28年度新 規採用看護師 (任期付看護 師除く)約70人	メンタルヘルスとは何 かを知り、自身の心の 健康状態に気づきスト レスに対応できる	1)職場における心の健 康づくり 2)職場におけるメンタ ルヘルス対策	講義 GW	4/7(木) 14:00～16:00	熊本大学大学院生命 科学研究部精神看護 学教授 宇佐美しおり先生	東病棟12階多目 的ホール	71人	2:00
基礎研修	医療者に必要 な接遇	平成28年度新 規採用看護師 (任期付看護 師除く)約70人	1)医療者として責任 ある態度とコミュニ ケーションをとることが できる 2)態度・言葉遣い・お もてなしを学ぶことで、 患者と信頼関係を築く 基礎を学ぶことができ る	接遇の理解	講義 ロール プレイ	4/7(木) 13:15～13:50	教育委員会	東病棟12階多目 的ホール	71人	0:35
	現場における 医療安全	平成28年度新 規採用看護師 (任期付看護 師除く)約70 人	医療安全管理に関す る基本的な考え方を 理解する	1)組織における医療安 全2)ダブルチェックの 方法	講義 演習	4/5(火) 13:20～14:50	熊本大学医学部付属 病院GRM 田口由美子看護師長 医療の質管理セン ター 副センター長菊 池健先生	東病棟12階多目 的ホール	73人	1:30

	社会人としての基本姿勢とコミュニケーション	平成28年度新規採用看護師(任期付看護師除く) 約70人	1) 社会人として自覚と責任ある行動が取れる 2) 専門職として主体的に自己研鑽を図ることができる 3) 医療チーム及び患者、家族との良好なコミュニケーションを図ることができる 4) 組織における役割、心構えを理解する	・組織における役割・心構え ・コミュニケーションの取り方	講義 GW ロールプレイ	4/6(水) 15:15~16:25	教育委員	東病棟12階 多目的ホール	73人	1:10
	看護倫理	平成28年度新規採用看護師(任期付看護師除く) 約70人	看護者の倫理とは何かを理解し、日常の看護ケアのなかで看護師としてどのように行動すべきかを学ぶ	・看護者の倫理綱領 ・看護ケアにおける倫理的な問題実践事例の検討	講義 GW	4/7(木) 10:15~12:15	急性・重症患者看護専門看護師 吉里孝子看護師長	東病棟12階 多目的ホール	71人	2:00
基礎研修	平成28年度情報システム関連パソコン操作研修	平成28年度新規採用者・転任者・育児休業復帰者	KAJYUの基本操作を学び、日常業務に活用できる	・KAJYUの基本操作 ・診療録参照方法のデモンストレーション ・操作演習 ・ファーストクラスの掲示板閲覧方法とメールの送信受信方法	演習	4/8(金) 時間は部署にて設定(最低2時間確保する)	看護情報リンクナース	各部署	73人	2:00
	看護記録基礎研修(記録ステップ1)	平成28年度新規採用者	看護記録の意義を理解し、観察した患者状態を記録できる	・看護記録の意義 ・バイタルサイン測定後の記録	講義 演習 GW	7/15(金) 9:00~11:30	塘田 貴代美 看護師長 看護情報委員会	管理棟3階 第一会議室	63人	2:30
	糖尿病看護基礎	平成28年度採用看護師(任期付看護師除く) 約70人	糖尿病に対する知識・技術を身につけ、安全な看護が提供できる	・糖尿病とは ・インスリン療法の基礎知識 ・実技演習 ・糖尿病看護とリスクマネジメント	講義 演習	5/24日(火) 8:00~12:00	藤本美枝糖尿病看護認定看護師 日本糖尿病療養指導士	東病棟12階 多目的ホール	66人	4:00

基礎研修	IV基礎研修	平成28年度新規採用看護師(任期付看護師除く)約70名 他施設研修生4名	<p>安全な静脈注射を実施するための知識、基本的な技術・態度を習得する</p> <p>本院の静脈注射実施基準を理解し、倫理的側面を考慮した行動がわかる</p> <p>静脈注射に必要な薬理作用・解剖生理を理解し実践にいかすことができる</p> <p>静脈注射に必要な安全・感染管理の知識を習得し、実践に活用できる</p> <p>緊急時の報告・連絡ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静脈注射に必要な解剖・生理</li> <li>・静脈注射実施基準と法的責任・教育計画</li> <li>・静脈注射に必要な緊急時の看護</li> <li>・静脈注射に必要な感染管理</li> <li>・静脈注射に必要な安全管理</li> <li>・看護師に必要な薬理作用の基礎知識</li> </ul>	講義	6/9(木) 8:30～16:00	業務委員会他	管理棟3階 第一会議室	75人	7:30
基礎研修	フィジカルアセスメント 基礎研修 BLS・AED	平成28年度新規採用看護師	<p>1)フィジカルイグザミネーション技術を修得し、正常と異常のアセスメントができる</p> <p>2)呼吸・循環・意識・腹部のフィジカルアセスメントに必要な知識を学ぶ</p> <p>3) BLS(Basic Life Support) * 一次救命処置の概要を理解し、技術を習得する * AEDを正しく理解し、使用できる</p>	<p>1)問診・視診・触診・聴診に必要な講義</p> <p>2)フィジカルイグザミネーション技術の演習</p> <p>3)シミュレーションを活用した正常と異常の判断</p> <p>4)BLS</p>	講義 演習 GW	9/7(水),8(木) 9(金) (※ いずれか1日に参加) 8:00～16:45	吉里孝子 急性・重症患者看護専門看護師 田中貴子 集中ケア認定看護師 上田郁美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 村上志穂 救急看護認定看護師	中央診療棟7階 総合臨床研修センターカンファレンス室・演習室・シミュレーション室	66人	23:15



基礎研修	新人ピアカウンセリングⅠ(3ヶ月)	平成28年度新規採用者 約70人	ピアカウンセリングによりリアリティショックを緩和する	・3ヶ月間の振り返り ・気持ちの共有	GW	7/8(金) 15:00~16:45	教育委員	山崎記念館1階 研修ホール 山崎記念館1階 会議室	65人	1:45
	情報収集の仕方と整理(記録スナップ2)	平成28年度新規採用看護師	看護過程の概念を学び、NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理ができる	・看護過程とは ・NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理 ・グループワーク(ペーパーパシエント事例を用いた情報の整理)	講義・GW・発表	7/15(金) 13:00~16:45	看護師長	管理棟3階 第一会議室	66人	3:45
	基本的日常生活援助技術(OJT)	H28年度採用看護師 約70人	安全で安楽な基本的日常生活援助技術の根拠を学び理解し、実践ができる	・DVD視聴 ・シナリオベースにした基本的日常生活援助技術の科学的根拠の理解と実践	OJT 演習	部署で計画	病棟教育担当者・実地指導者	OJT(部署で必ず実施)		
	基本的日常生活援助技術評価(OJT)	H28年度採用看護師 約70人	・実践の学びを客観的に評価し、自己の課題を明確にする ・基本的日常生活援助技術(排泄・清潔・更衣・体位変換)を身につけ、患者に安全・安楽なケアが提供できる	・模擬患者を設定した基本的日常生活援助技術の客観的臨床能力試験(シナリオベースにした排泄・清潔・更衣・体位変換)	OJT 演習	部署で計画	病棟教育担当者・実地指導者	OJT(部署で必ず実施)		
基礎研修	新人6ヶ月研修「看護の中の気づき」	平成28年度新規採用看護師および平成27年度中途採用者 約60人	事例の振り返りやグループディスカッションを通して、自己の課題を明確にし、看護実践に活かせる	看護の中の気づき ・事例を通して看護の振り返りをする ・自己の課題を見いだす	GWと必要時に ロールプレイ	11/12(土) 8:00~14:00	看護師長	管理棟3階 第一会議室他	60人	4:00

基礎研修	新人ピアカウンセリングⅡ(6ヶ月)	平成28年度新規採用者 約70人	ピアカウンセリングによりリアリティショックおよび不安を緩和する	・6ヶ月間の振り返り ・気持ちの共有	GW	11/12(土) 14:10~14:50	教育委員会 看護師長	各会場	60人	0:40
	PNS研修	平成28年度新規採用看護師および平成27年度中途採用者 約70人	1)PNS場面におけるロールプレイを通して、PNSの意義、マイルドを理解できる 2)自己の行動を振り返り、看護実践に活用できる	・PNSの気付き ・事例を通して気になった場面を検討する ・自己の行動を考える	講義・GW・ロールプレイ	11/12(土) 15:10~16:45	PNS新人教育グループ(副看護師長)	管理棟3階第一会議室	61人	1:35
	看護統合OSCE	H28年度採用看護師・H27年度中途採用看護師 約63人	1)1年間の実践の学びを客観的に評価し、自己の課題を明確にする 2)基本的臨床実践能力(看護の基本的姿勢と態度・看護技術・看護管理・接遇)を身につけ、患者に安全・安楽なケアが提供できる	模擬患者を設定したシナリオを実践する	OSCE	H28/1/24~26 (月~木) 9:00~16:20	教育委員会が評価表に基づいて行う	中央診療棟7階臨床研修センター	62人	22:00

ラダー I	がん看護 基礎編	レベル I 47人	がん看護の基礎的知識を理解し、実践に活かすことができる	・緩和ケア ・がん性疼痛看護 ・がん化学療法看護 ・がん放射線療法看護 ・がん患者における精神的ケア ・統合事例	講義 GW	7/5(火) 8:50~16:15	がん看護専門看護師 石坂 曉子 緩和ケア認定看護師 高野 いづみ 宮本 真紀 がん性疼痛看護認定 看護師 前田 望花 がん放射線療法看護 認定看護師 太田 由利香 がん化学療法看護認 定看護師 森 奈緒美	山崎記念館1階 研修ホール	47人	7:25
	看護診断 I	レベル I 以上 54人	・NANDA分類 II 13領域、NANDA看護診断、NIC・NOCの概要を学ぶ	・NANANDA看護診断分類 II 13領域各項目の意味とアセスメント ・NANDA・NIC・NOCリ ンケージの実際	講義 GW	7/22(金) 13:00~16:45	熊本大学大学院生命 科学研究部精神看護 学教授 宇佐美しおり先生	管理棟3階 第一 会議室	54人、看護 師長4人	3:45
	看護診断 II	レベル I 以上 53人	・NANDA分類 II 13領域、NANDA看護診断、NIC・NOCの概要を学び、実際に展開 できる	・NANANDA看護診断分類 II 13領域各項目の意味とアセスメント ・NANDA・NIC・NOCリ ンケージの実際	講義 GW	10/3(月) 14:00~16:00	熊本大学大学院生命 科学研究部教授 宇佐美しおり先生	管理棟3階 第一会議室	53人	2:00
ラダー I	看護管理	レベル I 56人	1)組織管理の概念を理解し、部署の運営に 参画できる 2)チームメンバーとして 主体的に行動できる	1)病院・看護部の組織 管理の概念 2)医療制度・診療報酬 制度 3)病院組織とチーム医療 4)看護と経営	講義 GW	10/28(金) 13:00~16:00	山本治美 副看護部 長	管理棟3階第一 会議室	56人	3:00
	急変時の対応 (ラダー I 対 象)	レベル I	1)急変対応に必要な 知識とスキル(気道管 理、モニター付き除細 動)を修得する 2)急変対応時のコミュ ニケーション、チーム ワークの必要性につ いて理解し行動できる 3)緊急性と優先度の 判断が理解できる	1)急変対応に必要な知 識(急変の前兆、波形診 断) 2)スキル(気道管理・モ ニター付き除細動)ト レーニング 3)コミュニケーションと チームワーク概論 4)シナリオトレーニング	講義 演習 GW	H29/1/21(土) 午前:8:00~ 12:10 午後:13:10~ 17:20	コメディカル心肺蘇生 トレーニング部会・教 育委員会	中央診療棟7階 臨床研修セン ター 他	52人	8:20

ラダーレベルII-1	メンタルケアトレーニング研修	レベルII-1 25人	メンタルヘルスについて正しく理解し、自身及び他者のメンタルケアトレーニングを実施することができる	1) ストレスやメンタルケアに関する基本的な知識 2) 自身、他者のメンタルケアの予防および軽減に役立つ対処法 3) メンタルケアトレーニング	講義 GW	12/7(水) 8:00~16:45	熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生	山崎記念館1階 研修ホール	25人	7:45
ラダーレベルII-1	がん看護(実践編)	ラダーII以上	がんやがんの治療に伴う症状へのケアについて理解し実践に活かすことができる	①治療に伴う有害事象への看護ケア(がん化学療法・放射線療法) ②がんに伴う苦痛症状への看護ケア(がん性疼痛) ③がん看護における症状マネジメント ④事例検討(グループワーク)	講義 GW 事例検討	9/29(木) 9:00~16:15	がん看護専門看護師 安達美樹 岡本麻子 がん性疼痛看護認定看護師 坂口まみ がん放射線療法看護認定看護師 太田由香里	山崎記念館1階	20人	6:15
	プリセプター研修:3ヶ月	平成28年度 実地指導者 (プリセプター)、教育担当者	プリセプターの悩みを共有し、新人看護師に対する指導・教育技法を学び、新人看護師への支援ができる。	・新人看護師研修制度の進捗状況報告と問題点の明確化 ・ロールプレイ・リフレクション・カウンセリング・アサーティブ訓練・コーチング・面接技法 ・新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方	講義 GW	6/30(木) 14:00~16:45	熊本大学大学院生命科学研究部教授 精神看護学 宇佐美しおり先生	東病棟12階 多目的ホール	49人	2:45
	プリセプター研修:6ヶ月	平成28年度 プリセプター 47名	1) 新人の半年間の成長度合いを評価し、今後の指導内容や方法を検討する 2) プリセプターの体験を通して自己の関わり方や自己成長を再確認する	・新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方 ・自己の振り返りと指導者としての成長過程の確認	講義 GW	9/12(月) 13:00~15:45	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	管理棟3階第一 会議室	47人	2:45
ラダーレ	プリセプターシップ研修	平成29年度 実地指導者 (プリセプター) (クリニカルラダーレベルII-1以上) 新副看護師長 副看護師長の 希望者	熊本病院におけるプリセプターシップについて理解し、実践する	1) プリセプターシップの概念と熊大式プリセプターシップの理解 2) 効果的な指導・教育技法 3) 新人看護師の特性・面接技法	講義 GW	H29/3/16(木) 13:00~16:45	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	東病棟12階多 目的ホール	44人	3:45

ヘル II I 1	事例研究発表 会	レベルII-1 看護師53人	理論と実践を統合し、 研究的態度を養う 1) 事例研究の意義を 理解する 2) 理論と実践の統合 ができる 3) 研究的態度を養い 看護の探求心を高め る	事例研究発表および事 例討議	発表と グ ルー プ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	10/15(土) 8:00~13:00	院長及びファミリー ター 看護師長	管理棟3階第1会 議室 山崎記念館 1階 会議室・ 研修ホール・ 2階 研修室 中央診療棟7階 カンファレンス ルーム	53人	5:00
ラ ダ ー レ ベ ル II I 1	退院支援	ラダーレベル II-1以上 27人	1) 医療提供体制の現 状を知る 2) 患者・家族が安心し て退院後の療養環境 に移行するための支 援を 学ぶ	1) 退院支援・退院調整 が必要な背景の理解 2) 急性期病院における 看護師の役割 3) 在宅療養継続のため の社会資源活用 4) 医療ソーシャル・ワ ーカー、ケアマネジャーの 役割を理解する 5) 医療機関と地域との 連携について理解する ～訪問看護師の立場か ら～	講義 GW 発表	10/4(火) 8:00~16:45	地域医療連携セン ター 井原国代看護師長 浦田和代看護師・坂 井美和看護師・坂井 由里子看護師 原田 薫MSW中野 香世子ケアマネ ジャー ※5) 特定医療法人萬 生会 訪問看護ス テーション管理者 北住紀美子先生	山崎記念館1階 研修ホール	27人	7:45
ラ ダ ー レ ベ ル II I 1	退院支援	ラダーレベル II-1以上 27人	他施設を見学しケアマ ネジャーや訪問看護 師の業務内容を理解し、 病院看護師として退 院支援の実践につな げる	1) 緩和ケア病棟の見学 2) ケアマネジャーや訪 問看護師の業務内容見 学	施設 見学 GW 発表	11/15(火) 8:30~16:45	各施設のスタッフ 地域医療連携セン ター 井原 国代 看護師長	(午前)・鶴田病院 緩和ケア病棟 ・鶴翔苑 居宅介護支援セン ター・訪問看護 ステーション ・地域包括支援セン ターささえりあ 保田菫、本莊 ・御幸病院 緩和 ケア病棟 ・みゆきの里 居宅介護支援事 業所・訪問看護ス テーション (午後)山崎記念 館1階研修ホール	27人	7:15
ラ ダ ー	災害看護	レベルII-2以 上 32人	・災害看護の基礎と特 殊性について理解す る ・災害発生時の応(役 割)について理解する ・施設見学を通して施 設内の災害対応を理 解する	・災害医療概論 ・災害看護に必要な基 礎的事項 ・災害発生時の対応(院 内災害対策マニュアル の確認) ・広域災害での医療支 援活動 ・トリアージ ・熊本地震における災 害対応 ・施設見学	講義 施設 見学	H29/1/31(火) 13:00~16:45	村上志穂救急看護認 定看護師 吉里孝子急性・重症 患者看護専門看護師 (エリア別カート説明: 中央材料部 松田貴 恵子看護師長	管理棟3階第一 会議室	32人	3:45

I レベルII-2・III	現任教育における人材育成と教育技法	レベルII-2以上 19人	1)看護実践現場における教育の意義および指導者としての役割を理解する 2)現任教育における人材育成の方法を学ぶ 3)効果的な指導・教育技法を学び、実践できる	・教育の概念 ・教育の目的・目標 ・人材育成 ・教育技法 ・評価方法	講義 GW	H29/2/8(水) 8:30～16:45	熊本大学大学院生命科学部教授 宇佐美しおり先生	山崎記念館1階 研修ホール	19人	7:15
ラダー レベルII-2・III	フィジカルアセスメント 研修 (ラダーII-2対象)	レベルII-2 (研修受講前e-ラーニングで事例検討自己学習した者)	1)フィジカルイグザミネーション技術を活用し、情報収集の質を高める 2)様々な症例に対するフィジカルアセスメント能力を深める 3)フィジカルイグザミネーション技術や、フィジカルアセスメント指導ポイントが分かり、部署での指導に活かすことができる	・呼吸・循環・意識・不整脈に関する知識とフィジカルイグザミネーション ・小グループでの事例を通じた統合アセスメント	講義 演習 GW	11/28・29 (月・火) 8:30～16:45	吉里孝子急性・重症患者看護専門看護師 田中貴子集中ケア認定看護師 上田郁美脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 村上志穂救急看護認定看護師	中央診療棟7階 カンファレンスルーム・演習室	39人	14:30
ラダー レベルII-2・III	家族看護	レベルII-2以上	ケアの対象者として家族を捉え家族看護の質向上を図る	・家族看護の概念と基本的な考え方 ・家族看護の主な理論 ・家族看護の展開方法(家族看護エンパワメントモデル) ・事例を用いた家族看護の展開(GW) ・急性期病院での家族との関わり ・在宅療養に向けての家族看護	講義 GW	12/6(火) 9:00～16:45	高知県立大学 基礎看護学准教授 瓜生浩子先生	山崎記念館 1階 研修ホール	25人	6:45

ラダーレベルⅡ・Ⅲ	看護研究 (コース編)	ラダーレベルⅡ-2以上の看護職員で希望者	1) 研究に関心を持ち実践と結びつけて考えることができる 2) 臨床の問いを明確にして文献検索を行い、研究計画書が作成できる 3) 看護研究の一連の流れを展開し、院内外で発表することを旨とする	・研究テーマの検討 ・文献検索の実際 ・研究計画書の作成 ・研究論文の作成	検討	1回目: 6/29(水) 14:30~15:40 2回目: 12/14 (水) 15:00~16:30	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	管理棟3階 第一会議室	1回目9人、 2回目6人	2:40
	看護倫理 (3回コース)	レベルⅡ-2以上 24人	1. 臨床における倫理的ジレンマに対する問題解決プロセスを理解し、事例を通して深めることができる。 2. 倫理的感受性を高めることができる	・倫理に関する重要概念 ・Jonsenの4分割の活用方法についての理解 ・臨床で体験した倫理的問題に関する事例検討	講義 GW	7/14(木) 13:00~16:45 9/23(金) 13:00~16:45 11/25(金) 13:00~16:45	急性・重症患者看護専門看護師 吉里 孝子 がん看護専門看護師 岡本 泰子 安達 美樹 石坂 暁子 精神看護専門看護師 江田由美子	1回目: 山崎記念館1階研修ホール 2回目: 中診棟7階カンファレンスルーム 3回目: 管理棟3階第一会議室	1回目: 24人 2回目: 23人 3回目: 22人	11:15
	事例検討 (ロイ看護論)	レベルⅢ相当の看護師	看護過程に看護理論を活用できる 1) ロイの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめることができる 2) 看護実践における論理的思考ができる 3) ロイの看護理論を自部署に浸透できる	ロイの看護理論を用いた事例検討	講義 GW	H28/10/17(月) 14:00~16:45 11/17(木) 14:00~16:45 12/15(木) 14:00~16:45	聖マリア学院大学教授 高艶子先生	山崎記念館1階 研修ホール	7人	8:15
ラダーレベルⅡ・Ⅲ	事例検討 (オレム看護論)	レベルⅡ-2以上	看護過程に看護理論を活用できる 1) オレムの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめる 2) 看護実践における論理的思考を育てる 3) オレムの看護理論を自部署に浸透できる	・オレムの看護理論について オレムの看護理論を用いた事例検討	講義 GW	1回 H28/9/30 (金) 13:00~16:45 2回 10/21(金) 14:00~16:45 3回 11/18(金) 14:00~16:45 4回 1/20(金) 14:00~16:45 5.6回 2/17(金) 13:00~16:45	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	1、3、4回目 管理棟3階 第一会議室  2回目 山崎記念館 1階研修ホール  5.6回目 東病棟12階多目的ホール	19人	15:45

管理研修	フィジカルアセスメント研修(副看護師長対象)	副看護師長	1)様々な症例に対するフィジカルアセスメント能力を深める 2)フィジカルイグザミネーション技術や、フィジカルアセスメント指導ポイント技術や、フィジカルアセスメント指導ポイントが 3)フィジカルアセスメントの学びを、部署での指導、教育に活かす	呼吸・循環・意識・不整脈に関する知識とフィジカルイグザミネーション小グループでの事例を通じた統合アセスメント	講義 演習 CW	H28/7/28(木)～ 7/29(金) 8:30～16:45	急性・重症患者看護 専門看護師 吉里孝子看護師長 集中ケア認定看護師 田中貴子副看護師長 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 上田郁美副看護師長 救急看護認定看護師 村上志穂副看護師長	中診療7階カンファレンスルーム・演習室	83人	14:30
管理研修	次世代看護管理者研修	新副看護師長	1)社会情勢や当院の経営状況、看護管理に関して現状を把握し、たうえて、看護管理に役立てることができる 2)看護管理者として、副看護師長の役割を理解し組織運営ができる 3)看護管理者として、メンタルヘルスについて正しく理解し、自身および他者のメンタルケアができる	当院の経営状況・労務管理 看護管理 メンタルケア 人材育成	講義	H29/3/15(水) 13:00～16:30	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	東病棟12階多目的ホール	平成29年4月1日付副看護師長昇任予定者6人	3:30
管理研修	管理研修 笑いの現場から学ぶ！ 最強医療コミュニケーション『なんでやねん力』	看護師長・副看護師長 熊本県下看護管理者	部署での人間関係や交渉などに活かす	最強の医療コミュニケーション	講演	H29/2/8(水) 17:30～19:00	Wマコト(中原 誠・中山 真)	医学総合研究棟3階講習室	院内 97人	1:30
指導者研修	基本的日常生活援助技術指導者研修	平成29年度実地指導者(プリセプター)で研修未受講者および新副看護師長	基本的日常生活援助技術を根拠に基づいて指導する方法が習得できる	日常生活援助技術の評価シナリオに基づいて演習(臥床患者の排泄・清潔・更衣・体位変換技術)	演習 体験 学習	H28/3/10・11 (木・金) 8:00～11:45 13:00～16:45	副看護師長 教育委員	中央診療棟7階総合臨床研修センター	平成29年度実地指導者 52人 副看護師長 23人	16:00
指導者	安全な注射・与薬プロセス指導者研修	平成29年度実地指導者(プリセプター)で研修未受講者および新副看護師長	安全な注射と薬方法および輸液関連ポンプ使用の指導方法を習得し、根拠に基づいた指導ができる。	注射と薬プロセスと輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法マニュアルに基づいた指導と評価の演習	講義 演習	H29/3/9・10 (木・金) 8:00～16:45	安全対策委員会	部署	平成29年度実地指導者 50人 副看護師長 24人	16:00





対象者別	新人ピアカウンセリングⅢ研修	看護部職員	ピアカウンセリングにより、仕事での充実感や満足感を得ることで、今後の看護に取り組むことができる	心理療法と集団精神療法	講義 GW	H29/2/27(月) ①15:00～15:45 ②16:00～16:45 H29/3/7(火) ③10:00～10:45 ④11:00～11:45	熊本大学大学院生命科学研究所 精神看護専門看護師 宇佐美しおり先生	H29/2/27(月): 熊本大学大学院生命科学研究所 看護学専攻棟(日棟105教室) H29/3/7(火): 管理棟3階第3会議室	新人1年目 看護師 ①4名 ②5名 ③6名 ④6名	3:00
	セルフマネジメント研修	看護部職員	意欲低下、落ち込み予防、仕事での充実感や満足感の回復を図る	集団精神療法	GW	H29/3/19(日) 11:00～14:00	PAS心理教育研究所 理事長 国際基督教大学名誉教授 小谷英文先生 熊本大学大学院生命科学研究所 精神看護専門看護師 宇佐美しおり先生	熊本大学大学院生命科学研究所 看護学専攻棟		3:00
講演会・発表会・報告会	講演会Ⅰ 看護部長講話	看護部職員* 平成28年度新規採用看護師は必須参加	看護部の理念、目標を共通理解し、看護部職員が目標に向かって行動できる	看護部の理念、方針、平成28年度の目標、教育方針	講演	4/7(木) 17:30～18:40	本尚美看護部長	医学総合研究棟 3階講習室 医学部教育図書棟3階第1講義室	看護部職員 349人 (新規採用者71人)	1:10
	講演会Ⅱ 地域医療連携講演会	平成28年度退院支援研修研修生必須、全看護職員	医療機関と地域との連携における看護師の役割について理解する	1) 大学病院と地域との連携 2) 患者の生活を支える看護師の役割	講演	10/4(火) 17:30～19:00	日本医師会総合政策機構 客員研究員 四国医療産業研究所 榎本真幸所長	医学総合研究棟 3階講習室	93人	1:30
講演会・発表会・報告会	看護研究研修報告会	看護部職員	発表活動を通し、研究能力を高め、相互啓発を図る	看護研究発表 1) やむを得ず身体拘束となった時の安全な拘束の方法と観察点の一考察 2) 疼痛マネジメント教育が自己効力感に影響したと考えられる一例	発表会	H29/2/12(土) 17:30～18:30	熊本大学大学院生命科学研究所教授 宇佐美しおり先生	医学教育図書棟 3階講義室	128人	1:00



研修	看護倫理	看護師長・副看護師長	看護における倫理的視点の力量を高め、スタッフおよび患者の相談に対応できる	事例検討	GW	平成28年 1回目:7月21日(木) 2回目:9月14日(水) 3回目:10月20日(木) 4回目:11月18日(金) 5回目:12月16日(金) 6回目:H28年1月18日(水) 7回目:H29年2月17日(金) 追加:3月1日(水) 18:00~19:00	熊本大学大学院生命科学部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	管理棟3階 第一会議室、山崎記念館1階研修ホール	2回目18人 3回目25人 4回目15人 7回目16人 追加14人 延べ88人	5:00
認定看護師主催自主研修	不妊症看護～ART(高度生殖補助医療)を受ける患者への援助～	不妊治療に携わる看護職員20名程度	ARTを受ける患者の背景、心理を理解し、治療内容全般において 情報提供、気持ちの傾聴を行うことができる	1)基礎編 (1)講義 ①ARTについて ・体外受精、顕微受精-胚移植 治療内容 ・卵巣刺激方法、採卵、胚移植、胚凍結について ・当院におけるプロトコール ②ARTの成績、期待される結果、副作用、料金公的援助について (2)生殖医療とがん医療の連携について ①生殖医療・がん連携センターについて (3)不妊症看護・症例紹介 2)実践編 (1)グループワーク (2)採卵室・培養室見学(受精卵の観察、卵の管理方法について学ぶ)	講義、GW、採卵室見学	H28/8/3(水) 8/10日(水) 17:30~19:00	不妊症看護認定看護師 本田万里子	中央診療棟7階カンファレンスルーム	第1回18人 第2回9人	3:00
	ストーマケア	ストーマケアに関わる部署の看護師	ストーマケア技術を習得し、ストーマを造設した患者の退院支援ができる	・ストーマ造設術前から術後のケア ・器具装着体験とセルフケア指導の演習 ・ストーマによる問題とトラブル時の対応 ・事例検討	講義演習	H29/1/20(金) 2/3(金) 2/16(木) 3/2(木) 17:30~19:00	皮膚・排泄ケア認定看護師 増田未散 三隅彰子	西病棟3階カンファレンスルーム、東病棟12階多目的ホール	11人	6:00
	急性期からの廃用症候群の予防～安全な離床に向けた全身管理とケア～	リーダーⅠまたはⅡ看護師20名程度	1) 安静臥床や寝たきりに伴う廃用症候群について理解することができる。 2) 急性期から始める廃用症候群予防のための根拠とケアを学び、日々の看護に活かすことができる。	1. 廃用症候群について 2. 安全な離床に向けた、呼吸/循環/認知/筋骨格系/排泄/皮膚の管理 3. 急性期からの廃用症候群予防ケアについて 4. ポジショニング/呼吸ケアの実技演習	講義 実技演習	H29/2/23(木) 17:00~19:00	集中ケア認定看護師 田中貴子 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 上田郁美	中央診療棟7階演習室	17人	2:00

認定看護師主催自主研修	せん妄ケア	ラダーⅡ以上の看護師	①せん妄の正しい基礎知識と治療について学び患者ケアに活かす。 ②せん妄のリスクアセスメント、予防ケア、発症後ケアを理解し実践に活かす	①せん妄の病態と治療 ②せん妄のリスクアセスメントと予防・発症後ケア	講義事例検討	H29/3/27(月) 17:00～18:30	熊本大学病院神経精神科 菅原医師 精神看護専門看護師 江田由美子 救急看護認定看護師 村上志穂 急性・重症患者看護専門看護師 吉里孝子	管理棟第一会議室	46名	1:30
	新生児集中ケア	急性期にある新生児の看護に興味のある看護職者	新生児の水・電解質と代謝の特徴、新生児感染症の病態と治療の知識を深め、フィジカルアセスメント能力の向上を図ることができる	1)新生児の水・電解質の特徴 2)新生児感染症の病態と症状アセスメント 3)抗生剤や循環管理の治療	講義演習	H29/3/13(月) 17:00～19:00	新生児集中ケア認定看護師 斉藤祐子	東病棟12階患者多目的室	13名	2:00
	慢性心不全看護	慢性心不全看護に携わる看護師(ラダーⅡ-1程度)	①慢性心不全患者が経験している症状と心不全増悪因子がわかる ②療養生活に必要なセルフモニタリングや、症状コントロールの支援方法が分かり、生活指導が実践できる	1)心不全の病態生理とフィジカルアセスメント ・慢性心不全の病態生理 ・慢性心不全患者の特徴と急性増悪の危険因子 2)心不全増悪因子に対する予防管理とセルフケア支援 ・慢性心不全患者の療養上の問題 ・再入院予防、生活の再構築に向けた看護(慢性心不全管理に必要なセルフケア教育、セルフモニタリング、行動変容支援、事例検討)	講義	H29/1/13(月) 17:00～18:30	慢性心不全看護認定看護師 小島美紀	西病棟3階カンファレンスルーム	4人	1:30
認定看護師主催自主研修	糖尿病看護	ラダーⅡ-1以上で糖尿病看護に関心のある方	1)糖尿病患者のセルフケア行動に影響する心理・身体・社会的要因について理解できる 2)糖尿病患者の行動変化を促進するための援助方法について理解できる	1)11月29日 患者さんがセルフケアできない背景を考える 2)12月6日 血糖値の変動には何が関係している？ 血糖値の動きを患者さんの支援に活用する方法は？ 3)12月13日 患者さんのやる気を引き出すコミュニケーション、グループワーク	講義GW	H28/11/29(火) 12/6(火) 12/13(火) 17:30～18:30	糖尿病看護認定看護師 藤本美枝	東病棟12階多目的ホール	5人	3:00

I V 研 修	IVナース研修 (静脈注射に必要な知識と筆記試験)	クリニカルラダーレベルⅡ-1以上もしくはレベルⅠ以上の看護師およびパート職員で参加者要件を満たした看護師	<p>静脈注射に必要な知識を習得し、実践に活用する</p> <p>本院の静脈注射実施基準と法的責任を理解し倫理的側面を考慮した行動ができる</p> <p>静脈注射に必要な解剖・生理を理解できる</p> <p>静脈注射に必要な薬理を理解できる</p> <p>静脈注射に必要な感染管理の知識を習得し、実践に活用できる</p> <p>静脈注射に必要な緊急時の看護安全に関する知識を習得し実践に活用できる</p> <p>緊急時に適切な対処ができる</p>	<p>本院における看護師・助産師の静脈注射実施基準</p> <p>静脈注射に必要な解剖・生理</p> <p>静脈注射に必要な薬理</p> <p>静脈注射に必要なリスクマネジメント:感染管理</p> <p>静脈注射に必要なリスクマネジメント:安全管理</p> <p>静脈注射に必要な緊急時の看護</p> <p>安全な静脈留置針挿入</p> <p>筆記試験(30分)</p>	<p>DVD 視聴、筆記試験 筆記試験合格者のみ部署にて技術評価</p>	<p>H28/7/4(月) 12:00~16:45 10/26(水) 12:00~16:45</p> <p>H29/2/22(水) 12:00~16:45</p>	<p>業務委員会</p>	<p>(1回目) 東病棟 12階 多目的ホール (2回目)東病棟9階 集団指導室 (3回目)東病棟 12階 多目的ホール</p>	<p>7/31:37人 9/11:19人 10/29:7人 1/14:13人 合計69人</p>	<p>20:00</p>
	IVナースインストラクター研修	クリニカルラダーレベルⅡ以上の看護師	<p>静脈注射に必要な知識技術を備え、看護師に静脈注射の指導ができる</p>	<p>筆記試験 技術評価・口頭試験 (筆記試験合格者のみ)</p>	<p>講義 筆記試験 60分 技術評価 45分</p>	<p>第1回: H28/7/6(水) 10:00~11:00 (筆記)13:00~ 16:4(実技) 第2回: H28/12/9(金) 10:00~11:00 (筆記)13:00~ 16:45(実技)</p>	<p>業務委員会</p>	<p>第1回:管理棟3階第一会議室 (筆記・実技) 第2回:西病棟3階カンファレンスルーム (筆記)、管理棟3階第一会議室 (実技)</p>	<p>49人</p>	<p>1:15(24人) 2:30(8人)</p>

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【中央検査部】

研 修 名	期 間	実施回数	参加人員	備 考
ISO15189に関する研修会	平成28年8月9日(火)	1回	48	
個人情報保護に関する研修	平成28年9月	1回	58	4回開催、いずれかに出席
輸血検査及び製剤管理の研修(時間外検査対応)	平成28年7月 平成28年8月18日(木)	2回	37	7月実技、8月解析
緊急検査に関する研修(生化学・免疫・凝固検査)	平成28年12月 平成28年12月22日(木)	2回	37	12月実技、12月解析
緊急検査に関する研修(血液検査)	平成28年7月 平成28年8月18日(木)	2回	37	7月実技、8月解析
倫理・個人情報保護研修	平成28年9月12日(月)	1回	21	

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【ME機器センター】					
研修名	期間	実施回数	参加人員	備考	
ペースメーカー	平成28年9月15日(木)	1回	31名	看護師 20名 医療技術職員 10名 その他 1名	
ペースメーカー	平成29年3月30日(木)	1回	23名	看護師 6名 医療技術職員 15名 その他 2名	
“いまさら聞けないハートモニターのABC”	平成29年3月27日(火) 平成29年3月28日(水)	4回(両日 2部制)	86名	看護師	86名



高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【中央放射線部】				
研 修 名	期 間	実施回数	参加人員	備 考
救急医療に関する研修(講義)	平成29年3月15日(水)	1回	18	
救急医療に関する研修(実技)	平成29年3月21日(火)	1回	18	

(様式第 8)

熊大病医事第 368 号  
平成 29 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人熊本大学長  
原田 信

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修（平成 29 年度）に参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（17）名

うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（9）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（3）名

その他、臨床心理士 1 名（専任）

臨床検査技師 1 名、診療放射線技師 1 名、臨床工学技師 1 名、事務職員 1 名（いずれも兼任）

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

現在、専従の看護師 3 名及び薬剤師 1 名、専任の医師 1 名及び臨床心理士 1 名を配置済み。

今後の専従等の予定は、

平成 30 年 4 月 1 日までに、専任医師 2 名を配置予定。

平成 32 年 4 月 1 日までに、専従医師 1 名を配置予定。